

4	番号	設計 の 理由	汚水排除のため本工を要する	工期	令和5年 2月28日限 り	施行 方法	一般競争
	補						

実施設計書

(特環)公共下水道管布設工事(補助その3)

主要地方道 宇都宮結城線 上三川町大字石田地内

延長 L = 363.9m(289.9m+74.0m)

設計概要

管布設工	(硬質塩ビ管 φ200)	338.5m(276.3m+62.2m)
管布設工	(硬質塩ビ管 φ150)	18.2m(8.0m+10.2m)
マンホール設置工	(組立式 1号 φ900)	5箇所(4+1)
マンホール設置工	(組立式 0号 φ750)	2箇所(1+1)
小口径マンホール設置工	(レジンコンクリート製 φ300)	1箇所(1+0)
汚水柵設置工	(塩ビ製 φ200)	3箇所(2+1)

課長

補佐

係長

検算者

設計者

設計用紙 (甲)

上三川町

請負工事費金
内訳

工事価格

消費税相当額

予算額		増減額	予算額に対する 増減額	理由
実施前	設計額			
	請負額			
今回変更	設計額		増減額	
	請負額			

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価区分 適用単価地区 適用単価世代 諸経費体系 ファイル名	13 上三川町 実施設計書 当初 04-13001600000-40 0 1 実施単価 11 宇都宮土木事務所管内 0-040610(0) 1 一般公共 【R4・当初】(特環)公共下水道管布設工事(補助その3).ES5		
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 ICT施工補正の有無 消費税等の率	当 世 代 40 31 下水道(2)工事 00 計上しない 12 市街地以外 01 一般交通影響あり(1) 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 01 補正なし 06 10%適用	前 世 代	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本 工 事									X1000	
管路									Y10ZZ	
管きよ工 (開削)						1 式			Y103W	
管路土工						1 式			Y103W2DV	
管路掘削						1 式			Y103W2DV51I	
床掘り 土砂 小規模 全ての費用	229		m	3					SZA161	0
機械掘削工 (バックホウ)	545		m	3					施工 第0-0005号内訳表	
管路埋戻						1 式			SK005	0
機械投入埋戻工 (バックホウ)									施工 第0-0006号内訳表	
発生土 砂質土 (普通土)	302		m	3					Y103W2DV51J	
									SK025	0
									施工 第0-0008号内訳表	

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	223		m 3			SZA181 0 施工 第0-0010号内訳表
発生土処理			1 式			Y103W2DV51K
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 1.0km以下	229		m 3			SZA105 0 施工 第0-0011号内訳表
発生土運搬工 運搬距離0.5km DID地区なし	545		m 3			SK035 0 施工 第0-0012号内訳表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	774		m 3			SZA125 0 施工 第0-0014号内訳表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 7.5km以下	191		m 3			SZA105 0 施工 第0-0015号内訳表
埋戻土運搬			1 式			Y103W2DV6VU
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 0.5km以下	583		m 3			SZA105 0 施工 第0-0016号内訳表
管布設工			1 式			Y103W2DW

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管			1 式			Y103W2DW4T8
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径150mm	8.0		m			SK980 0 施工 第0-0017号内訳表
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径200mm	276.3		m			SK980 0 施工 第0-0018号内訳表
伸縮可とう継手 (管)			1 式			Y103W2DW51S
可とう性継手 VUφ150 拡張バンドタイプ	1		箇所			F1020 0
可とう性継手 VUφ200 拡張バンドタイプ	10		箇所			F1010 0
マンホール削孔接続			1 式			Y103W2DW51T
削孔費 VUφ100 1号マンホール	1		箇所			F1070 0
削孔費 VUφ150 1号マンホール	2		箇所			F1060 0

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
削孔費 VUφ200 1号マンホール	5		箇所			F1030 0
削孔費 VUφ200 0号マンホール	1		箇所			F1040 0
管基礎工			1 式			Y103W2DX
砂基礎			1 式			Y103W2DX51X
砂基礎工（機械施工）	103		m ³			SK985 0 施工 第0-0019号内訳表
管路土留工			1 式			Y103W2E0
たて込み簡易土留			1 式			Y103W2E052D
たて込み簡易土留材建込工（両側分） 掘削深 2.5m以下	8.5		m			SK070 0 施工 第0-0020号内訳表
たて込み簡易土留材引抜工（両側分） 掘削深 2.5m以下	8.5		m			SK070 0 施工 第0-0021号内訳表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
たて込み簡易土留材建込工（両側分） 掘削深 3.5m以下	281.5		m						SK070 0	
									施工 第0-0022号内訳表	
たて込み簡易土留材引抜工（両側分） 掘削深 3.5m以下	281.5		m						SK070 0	
									施工 第0-0023号内訳表	
たて込み簡易土留賃料 補助工区	1			式					F1310 0	
マンホール工				1式					Y1040	
組立マンホール工				1式					Y10402FX	
組立0号マンホール				1式					Y10402FX5AE	
マンホール鉄蓋（T-25） φ600mm H110mm（浮上防止用）	1			組					T5333 0	
注入材 無収縮モルタル	16			kg					TCB14 0	
調整リング（2号10cm） H=100mm	1			個					T5310 0	

本工事費

内訳表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
組立式 0号マンホール (斜壁) 上φ600×下φ750×H600mm	1			個					T5374	0
組立式 0号マンホール (直壁) φ750×H 600mm	1			個					T5378	0
組立式 0号マンホール (く体ブロック) φ750×H1800mm	1			個					T5396	0
組立式 0号マンホール (底版) 有効高130mm	1			個					T5404	0
組立マンホール設置工 0号 マンホール深さ3m超～5m以下	1			箇所					SK994	0
底部工材料 RC40 0号人孔	1			箇所					G0260	
インバート設置工 0号人孔	1			箇所					G0270	
組立 1号マンホール				1式					Y10402FX5AF	
マンホール鉄蓋 (T-25) φ600mm H110mm (浮上防止用)	4			組					T5333	0

本工事費

内訳表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
注入材 無収縮モルタル	85		k	g					TCB14	0
調整リング (2号10cm) H=100mm	8			個					T5310	0
組立式1号マンホール (斜壁) 上φ600×下φ900×H450mm	3			個					T5502	0
組立式1号マンホール (斜壁) 上φ600×下φ900×H600mm	1			個					T5503	0
組立式1号マンホール (直壁) φ900×H300mm	2			個					T5504	0
組立式1号マンホール (直壁) φ900×H600mm	2			個					T5505	0
組立式1号マンホール (く体ブロック) φ900×H1800mm	4			個					T5516	0
組立式1号マンホール (底版) 有効高130mm	4			個					T5522	0
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	2			箇所					SK994	0
									施工	第0-0025号内訳表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m超～4m以下	2			箇所					SK994 0	
									施工 第0-0026号内訳表	
底部工材料 RC40 1号人孔	4			箇所					G0240 0	
									科目 第0003号内訳表	
インバート設置工 1号人孔	5			箇所					G0230 0	
									科目 第0004号内訳表	
内副管				1式					Y10402FX4TD	
内副管設置工 VUφ100 H=0.84m	1			箇所					G0120 0	
									科目 第0005号内訳表	
小型マンホール工				1式					Y10402FY	
小型マンホール				1式					Y10402FY546	
マンホール鉄蓋 φ300 T-25 かぎ付	1			組					F0133 0	
レジンコンクリート製マンホール 調整リング 300×50	1			個					F0147 0	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
レジンコンクリート製マンホール 上部壁 300×200	1		個			F0134 0
レジンコンクリート製マンホール 中間壁 300×600	2		個			F0144 0
レジンコンクリート製マンホール 中間壁 300×900	1		個			F0146 0
管取付け壁 φ300×H370mm 1方向流入 接続管φ200用	1		個			F0148 0
底 版 φ560×H70mm	1		個			F0150 0
アダプタセット VU200-IN	1		個			F0152 0
アダプタセット VU200-OUT	1		個			F0154 0
小型マンホール設置工 (レジンC o製) マンホール深さ 3.00m以下	1		箇所			SK174 0 施工 第0-0027号内訳表
底部工材料 RC40 小型人孔	1		箇所			G0250 0 科目 第0006号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管およびます工			1 式			Y1042
管路土工			1 式			Y10422DV
管路掘削			1 式			Y10422DV51I
床掘り 土砂 小規模 全ての費用	31		m 3			SZA161 0 施工 第0-0005号内訳表
管路埋戻			1 式			Y10422DV51J
埋戻し 土砂 小規模 全ての費用	8		m 3			SZA181 0 施工 第0-0028号内訳表
発生土処理			1 式			Y10422DV51K
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 7.5km以下	22		m 3			SZA105 0 施工 第0-0029号内訳表
ます設置工			1 式			Y10422EW

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ます				1式					Y10422EW54H	
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm	2			箇所					SK990 0	施工 第0-0030号内訳表
鋳鉄製防護ふた φ200 T-8	2			個					F1600 0	
取付管布設工				1式					Y10422EX	
取付管				1式					Y10422EX54I	
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	2			箇所					SK992 0	施工 第0-0031号内訳表
付帯工				1式					Y1043	
舗装撤去工				1式					Y10432EY	
舗装版切断				1式					Y10432EY485	

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	15.5		m			SZD321 0 施工 第0-0032号内訳表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	578.6		m			SZD321 0 施工 第0-0033号内訳表
舗装版破碎			1 式			Y10432EY486
舗装版破碎 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 全ての費用	10		m 2			SZD311 0 施工 第0-0034号内訳表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 全ての費用	284		m 2			SZD311 0 施工 第0-0035号内訳表
殻運搬処理			1 式			Y10432EY448
殻運搬 舗装版破碎 6.0km以下 全ての費用	48		m 3			SZA961 0 施工 第0-0036号内訳表
殻運搬 舗装版破碎 6.5km以下 全ての費用	0.5		m 3			SZA961 0 施工 第0-0037号内訳表
処分費 アスファルト	49		m 3			S0020 0 施工 第0-0038号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断運搬費 (汚泥) 2 t 車 片道 2.5 km まで	2		m ³			T8232 0
処分費 舗装版切断汚泥	2		m ³			S0020 0 施工 第0-0039号内訳表
舗装復旧工 (種別毎)			1 式			Y10432F2
下層路盤			1 式			Y10432F2438
路盤工 (人力施工) 車道部下層路盤 仕上り厚 530 mm	284		m ²			S1808 0 施工 第0-0040号内訳表
路盤工 (人力施工) 歩道部路盤 仕上り厚 170 mm	5		m ²			S1808 0 施工 第0-0041号内訳表
路盤工 (人力施工) 車道部下層路盤 仕上り厚 200 mm	5		m ²			S1808 0 施工 第0-0042号内訳表
路盤工 (人力施工) 車道部下層路盤 仕上り厚 100 mm	3		m ²			S1808 0 施工 第0-0043号内訳表
上層路盤			1 式			Y10432F2439

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
上層路盤（車道・路肩部） 瀝青安定処理 1.4m未満（1層当平均仕上厚50mm超100mm以下） 全ての費用	284		m	2					SZD009 0	施工 第0-0044号内訳表
路盤工（人力施工） 車道部上層路盤 仕上り厚170mm	5		m	2					S1808 0	施工 第0-0045号内訳表
基層										Y10432F243A
基層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚50mm 全ての費用	284		m	2					SZD021 0	施工 第0-0046号内訳表
表層										Y10432F243B
表層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚50mm 全ての費用	284		m	2					SZD023 0	施工 第0-0047号内訳表
表層（歩道部） 1.4m以上 平均仕上り厚30mm 全ての費用	5		m	2					SZD027 0	施工 第0-0048号内訳表
表層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚30mm 全ての費用	5		m	2					SZD023 0	施工 第0-0049号内訳表
仮設工										Y1000
										1式

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工			1 式			Y1000232
交通誘導警備員			1 式			Y1000232Y21
交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員 B	1		式			S0914 0 施工 第0-0050号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費										
運搬費									Z0004	
仮設材の運搬 製品長 1.2 m以内 運搬距離 4.1 km (×往復) 補助工区分	1								F1500	0
共通仮設費 (率分)										
共通仮設費計積上(現場, 一般管理費対象外)									Z0041	
六価クロム溶出試験	1								F0250	0
共通仮設費計										
純工事費										
現場管理費										

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費等			1 式			
契約保証費			1 式			
一般管理費等計						
工事価格						

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
** 附帯工事 **									X2000	
管路									Y10ZZ	
管きよ工 (開削)					1	式			Y103W	
管路土工					1	式			Y103W2DV	
管路掘削					1	式			Y103W2DV51I	
床掘り 土砂 小規模 全ての費用	59		m	3					SZA161	0
機械掘削工 (バックホウ)									施工	第0-0005号内訳表
管路埋戻	142		m	3					SK005	0
機械投入埋戻工 (バックホウ)									施工	第0-0006号内訳表
発生土 砂質土 (普通土)	78		m	3					Y103W2DV51J	
					1	式			SK025	0
									施工	第0-0008号内訳表

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	57		m 3			SZA181 0 施工 第0-0010号内訳表
発生土処理			1 式			Y103W2DV51K
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 1.0km以下	59		m 3			SZA105 0 施工 第0-0011号内訳表
発生土運搬工 運搬距離0.5km DID地区なし	142		m 3			SK035 0 施工 第0-0012号内訳表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	201		m 3			SZA125 0 施工 第0-0014号内訳表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 7.5km以下	51		m 3			SZA105 0 施工 第0-0015号内訳表
埋戻土運搬			1 式			Y103W2DV6VU
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 0.5km以下	150		m 3			SZA105 0 施工 第0-0016号内訳表
管布設工			1 式			Y103W2DW

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
硬質塩化ビニル管				1 式					Y103W2DW4T8	
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	10.2		m						SK980 0	施工 第0-0017号内訳表
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200mm	62.2		m						SK980 0	施工 第0-0018号内訳表
伸縮可とう継手 (管)				1 式					Y103W2DW51S	
可とう性継手 VUφ150 拡張バンドタイプ	2			箇所					F1020 0	
可とう性継手 VUφ200 拡張バンドタイプ	2			箇所					F1010 0	
マンホール削孔接続				1 式					Y103W2DW51T	
削孔費 VUφ150 0号マンホール	1			箇所					F1050 0	
管基礎工				1 式					Y103W2DX	

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
砂基礎									Y103W2DX51X	
砂基礎工（機械施工）				1 式					SK985	0
	26		m	3					施工	第0-0019号内訳表
管路土留工									Y103W2E0	
				1 式						
たて込み簡易土留									Y103W2E052D	
				1 式						
たて込み簡易土留材建込工（両側分） 掘削深 2.5m以下									SK070	0
	11.0		m						施工	第0-0020号内訳表
たて込み簡易土留材引抜工（両側分） 掘削深 2.5m以下									SK070	0
	11.0		m						施工	第0-0021号内訳表
たて込み簡易土留材建込工（両側分） 掘削深 3.5m以下									SK070	0
	63.0		m						施工	第0-0022号内訳表
たて込み簡易土留材引抜工（両側分） 掘削深 3.5m以下									SK070	0
	63.0		m						施工	第0-0023号内訳表
たて込み簡易土留賃料 単独工区									F1320	0
	1			式						

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール工			1 式			Y1040
組立マンホール工			1 式			Y10402FX
組立0号マンホール			1 式			Y10402FX5AE
マンホール鉄蓋 (T-14) φ600mm H110mm (浮上防止用)	1		組			T5334 0
注入材 無収縮モルタル	32		k g			TCB14 0
調整リング (3号15cm) H=150mm	1		個			T5311 0
組立式 0号マンホール (斜壁) 上φ600×下φ750×H450mm	1		個			T5372 0
組立式 0号マンホール (く体ブロック) φ750×H1500mm	1		個			T5394 0
組立式 0号マンホール (底版) 有効高130mm	1		個			T5404 0

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立マンホール設置工 0号 マンホール深さ2m超～3m以下	1		箇所			SK994 0 施工 第0-0052号内訳表
底部工材料 RC40 0号人孔	1		箇所			G0260 科目 第0001号内訳表
組立1号マンホール			1式			Y10402FX5AF
マンホール鉄蓋 (T-25) φ600mm H110mm (浮上防止用)	1		組			T5333 0
注入材 無収縮モルタル	11		kg			TCB14 0
調整リング (2号10cm) H=100mm	1		個			T5310 0
組立式1号マンホール (斜壁) 上φ600×下φ900×H600mm	1		個			T5503 0
組立式1号マンホール (直壁) φ900×H600mm	1		個			T5505 0
組立式1号マンホール (く体ブロック) φ900×H1800mm	1		個			T5516 0

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立式1号マンホール(底版) 有効高130mm	1		個			T5522 0
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m超～4m以下	1		箇所			SK994 0 施工 第0-0026号内訳表
底部工材料 RC40 1号人孔	1		箇所			G0240 0 科目 第0003号内訳表
インバート設置工 1号人孔	1		箇所			G0230 0 科目 第0004号内訳表
取付管およびます工			1式			Y1042
管路土工			1式			Y10422DV
管路掘削			1式			Y10422DV51I
床掘り 土砂 小規模 全ての費用	10		m ³			SZA161 0 施工 第0-0005号内訳表
管路埋戻			1式			Y10422DV51J

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 土砂 小規模 全ての費用	2		m ³			SZA181 0 施工 第0-0028号内訳表
発生土処理			1 式			Y10422DV51K
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 7.5km以下	8		m ³			SZA105 0 施工 第0-0029号内訳表
ます設置工			1 式			Y10422EW
ます			1 式			Y10422EW54H
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm	1		箇所			SK990 0 施工 第0-0053号内訳表
取付管布設工			1 式			Y10422EX
取付管			1 式			Y10422EX54I
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	1		箇所			SK992 0 施工 第0-0031号内訳表

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
付帯工			1 式			Y1043
舗装撤去工			1 式			Y10432EY
舗装版切断			1 式			Y10432EY485
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	10.0		m			SZD321 0 施工 第0-0032号内訳表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下 全ての費用	142.8		m			SZD321 0 施工 第0-0033号内訳表
舗装版破碎			1 式			Y10432EY486
舗装版破碎 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 全ての費用	5		m ²			SZD311 0 施工 第0-0034号内訳表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 全ての費用	70		m ²			SZD311 0 施工 第0-0035号内訳表
殻運搬処理			1 式			Y10432EY448

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻運搬 舗装版破碎 6.0km以下 全ての費用	12		m	3					SZA961	0
									施工	第0-0036号内訳表
殻運搬 舗装版破碎 6.5km以下 全ての費用	0.2		m	3					SZA961	0
									施工	第0-0037号内訳表
処分費 アスファルト	12		m	3					S0020	0
									施工	第0-0038号内訳表
舗装版切断運搬費（汚泥） 2 t車 片道2.5 kmまで	0.6		m	3					T8232	0
処分費 舗装版切断汚泥	0.6		m	3					S0020	0
									施工	第0-0039号内訳表
舗装復旧工（種別毎）									Y10432F2	
下層路盤									Y10432F2438	
路盤工（人力施工） 車道部下層路盤 仕上り厚530 mm	70		m	2					S1808	0
									施工	第0-0040号内訳表
路盤工（人力施工） 車道部下層路盤 仕上り厚200 mm	5		m	2					S1808	0
									施工	第0-0042号内訳表

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤			1 式			Y10432F2439
上層路盤（車道・路肩部） 瀝青安定処理 1.4m未満（1層当平均仕上厚50mm超100mm以下） 全ての費用	70		m 2			SZD009 0 施工 第0-0044号内訳表
路盤工（人力施工） 車道部上層路盤 仕上り厚170mm	5		m 2			S1808 0 施工 第0-0045号内訳表
基層			1 式			Y10432F243A
基層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚50mm 全ての費用	70		m 2			SZD021 0 施工 第0-0046号内訳表
表層			1 式			Y10432F243B
表層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚50mm 全ての費用	70		m 2			SZD023 0 施工 第0-0054号内訳表
表層（車道・路肩部） 1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下） 平均仕上り厚30mm 全ての費用	5		m 2			SZD023 0 施工 第0-0049号内訳表
仮設工			1 式			Y1000

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工		1 式			Y1000232
交通誘導警備員		1 式			Y1000232Y21
交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員 B	1	式			S0914 0 施工 第0-0055号内訳表

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
** 直接工事費 **										
運搬費									Z0004	
仮設材の運搬 製品長 1 2 m以内 運搬距離 4. 1 k m (×往復) 単独工区分	1								F1510	0
共通仮設費 (率分)										
** 共通仮設費計 **										
** 純工事費 **										
現場管理費										
** 工事原価 **										
一般管理費等										

* 附帯工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費		1 式			
** 一般管理費等計 **					
** 工事価格 **					
** 工事価格計 **					
消費税・地方 消費税額		1 式			
** 請負工事費 **					

底部工材料 RC40

G0260

科目内訳表

科目 第0001号内訳表

頁0-0033

0号人孔

1

箇所 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシュラン RC-40 0.85×0.20	0.17	m ³			TCF04 0
計	1	箇所			

科目内訳表

施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
モルタル上塗り 混合比 1 : 2 モルタル厚 20 mm	0.66		m	2					SK141 0	施工 第0-0001号内訳表
コンクリート 小型構造物 人力打設 全ての費用	0.15		m	3					SZB401 0	施工 第0-0003号内訳表
計	1			箇所						

科目内訳表

1号人孔

1

箇所 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシュラン RC-40 1.14×0.20	0.23	m ³			TCF04 0
計	1	箇所			

科目内訳表

施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル上塗り 混合比 1 : 2 モルタル厚20mm	0.79	m ²			SK141 0 施工 第0-0001号内訳表
コンクリート 小型構造物 人力打設 全ての費用	0.18	m ³			SZB401 0 施工 第0-0003号内訳表
計	1	箇所			

内副管設置工

G0120

科目内訳表

科目 第0005号内訳表

頁0-0037

No. 43-1-1

1

箇所 当り

施工名称など	数	量	単位	単価	金額	備考
内副管取付工 硬質塩化ビニル管 段差 1.0m以上～1.5m未満	1		箇所			SK167 0 施工 第0-0004号内訳表
プレーンエンド直管 φ100×4.0m	0.2		本			F0100 0
硬質塩ビ管 (副管用継手) 副管用90度支管 φ150 (塩ビ ヒューム管)	1		個			T5627 0
硬質塩ビ管 (副管用継手) 90度曲管 φ150×170mm	1		個			T5625 0
計	1		箇所			

科目内訳表

小型人孔

1

箇所 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシュラン RC-40 0.25×0.20	0.05	m ³			TCF04 0
計	1	箇所			

施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

1 m2 当り

モルタル上塗り
 混合比 1:2

SK141
 モルタル厚20mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
左官		人			RA175
普通作業員		人			RA010
モルタル練 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 2t未満 1:2	0.020	m3			SZB405 施工 第0-0002号内訳表
小計	1	m2			

施工内訳表

施工 第0-0002号内訳表

SZB405

モルタル練
セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 2t未満
機械構成比: 1:2
労務構成比:

材料構成比:

全ての費用
市場単価構成比:

1
標準単価:

m 3 当り

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員		RA010
セメント(普通ポルトランド) 袋物(25kg) 2t未満			セメント(高炉B) 25kg袋入		T1000
砂(コンクリート用) 0~5mm			コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)		T1012
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

SZB401

人力打設

全ての費用

1

m 3 当り

コンクリート

小型構造物

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート(18-8-25) (W/C指定なし)			生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%		T1101
積算単価			積算単価		EP001

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

SZB401

人力打設

全ての費用

1

m3 当り

コンクリート

小型構造物

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小計					

施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

1

箇所 当り

SK167

段差 1. 0 m以上～1. 5 m未満

内副管取付工
硬質塩化ビニル管

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
小計	1	箇所			

施工内訳表

施工 第0-0005号内訳表

SZA161

小規模

全ての費用

1

m 3 当り

床掘り

土砂

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		MA204
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0006号内訳表

100 m³ 当り

機械掘削工 (バックホウ)

SK005

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型1次基準		時間			SX040 施工 第0-0007号内訳表
計	100	m ³			
小計	1	m ³			

施工内訳表

施工 第0-0008号内訳表

100 m³ 当り

機械投入埋戻工 (バックホウ)

SK025
発生土 砂質土 (普通土)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型1次基準		時間			SX040 施工 第0-0007号内訳表
タンパ締固め	100.000	m ³			SZA185 施工 第0-0009号内訳表
計	100	m ³			
小計	1	m ³			

施工内訳表

施工 第0-0009号内訳表

SZA185

1 m 3 当り

全ての費用
市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タンパ(ランマ)賃料			タンパ(ランマ)賃料		KQ632
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0010号内訳表

SZA181
最大埋戻幅1m未満

1 m 3 当り

埋戻し

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス1次			バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス1次		MA192
タンパ(ランマ) 賃料			タンパ(ランマ) 賃料		KQ632
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RA070
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24

施工内訳表

施工 第0-0010号内訳表

1 m 3 当り

SZA181
最大埋戻幅1m未満

埋戻し

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0011号内訳表

土砂等運搬
小規模
機械構成比：

SZA105
土砂(岩塊・玉石混り土含む)
労務構成比：
材料構成比：

1.0km以下
市場単価構成比：

1
標準単価：

m 3 当り

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA402
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0013号内訳表

SX110

1 日 当り

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日			MA402
運転手 (一般)		人			RA075
軽油 1.2号 パトロール給油	34.000	L			TSX24
タイヤ損耗費 ダンプトラック		供用日			KP110
小計	1	日			

施工内訳表

施工 第0-0014号内訳表

1 m 3 当り

積込 (ルーズ)

SZA125

土量50,000m3未満

土砂

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

標準単価 :

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次			バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次		MA185
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0015号内訳表

土砂等運搬

SZA105

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

7.5km以下

1

m 3 当り

標準

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0016号内訳表

土砂等運搬
標準

SZA105
土砂(岩塊・玉石混り土含む)

0.5km以下

1

m 3 当り

機械構成比： 労務構成比：

材料構成比： 市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0020号内訳表

SK070

10 m 当り

たて込み簡易土留材建込工（両側分）
掘削深 2.5m以下

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型1次基準		時間			SX040 施工 第0-0007号内訳表
計	10	m			
小計	1	m			

施工内訳表

施工 第0-0021号内訳表

10 m 当り

SK070

たて込み簡易土留材引抜工（両側分）
掘削深 2.5m以下

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料		日			KQ305
計	10	m			
小計	1	m			

施工内訳表

施工 第0-0022号内訳表

SK070

10 m 当り

たて込み簡易土留材建込工（両側分）
掘削深 3.5m以下

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型1次基準		時間			SX040 施工 第0-0007号内訳表
計	10	m			
小計	1	m			

施工内訳表

施工 第0-0023号内訳表

SK070

10 m 当り

たて込み簡易土留材引抜工（両側分）
掘削深 3.5m以下

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料		日			KQ305
計	10	m			
小計	1	m			

施工内訳表

施工 第0-0027号内訳表

SK174

1

箇所 当り

小型マンホール設置工 (レジンC o製)
マンホール深さ 3.00m以下

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
諸雑費		%			#09
小計	1	箇所			

施工内訳表

施工 第0-0028号内訳表

SZA181

小規模

全ての費用

1

m 3 当り

埋戻し

土砂

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		MA204
タンパ及びランマ [ランマ]			タンパ及びランマ [ランマ]		MC271
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RA070
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24

施工内訳表

施工 第0-0028号内訳表

SZA181

小規模

全ての費用

1

m 3 当り

埋戻し

土砂

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0029号内訳表

土砂等運搬
小規模
機械構成比：

SZA105
土砂(岩塊・玉石混り土含む)
労務構成比：

7.5km以下
市場単価構成比：

1
標準単価：

m 3 当り

代表機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA402
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0032号内訳表

SZD321

15cm以下

全ての費用

1

m 当り

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]		MC445
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
普通作業員			普通作業員		RA010
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工内訳表

施工 第0-0032号内訳表

SZD321

15cm以下

全ての費用

1

m 当り

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブレード (コンクリートカッタ) 径22インチ (56cm)			ブレード (コンクリートカッタ) 径22インチ (56cm)		TSD06
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0033号内訳表

1 m 当り

SZD321
15cmを超え30cm以下

全ての費用
市場単価構成比：

標準単価：

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		MC446
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
普通作業員			普通作業員		RA010
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工内訳表

施工 第0-0033号内訳表

1 m 当り

SZD321
15cmを超え30cm以下

全ての費用
市場単価構成比：

標準単価：

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブレード(コンクリートカッタ) 径30インチ(75cm)			ブレード(コンクリートカッタ) 径30インチ(75cm)		TSD10
ブレード(コンクリートカッタ) 径22インチ(56cm)			ブレード(コンクリートカッタ) 径22インチ(56cm)		TSD06
ブレード(コンクリートカッタ) 径14インチ(35cm)			ブレード(コンクリートカッタ) 径14インチ(35cm)		TSD03
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

施工内訳表

施工 第0-0033号内訳表

1 m 当り

標準単価:

全ての費用
市場単価構成比:

材料構成比:

SZD321
15cmを超え30cm以下

労務構成比:

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小計					

施工内訳表

施工 第0-0034号内訳表

1 m 2 当り

SZD311
騒音振動対策不要

全ての費用
市場単価構成比：

標準単価：

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料			バックホウ [クローラ型] 賃料		KQ003
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001

施工内訳表

施工 第0-0034号内訳表

1 m2 当り

SZD311

騒音振動対策不要

全ての費用

標準単価:

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小計					

施工内訳表

施工 第0-0035号内訳表

1 m 2 当り

標準単価:

全ての費用
市場単価構成比:

材料構成比:

騒音振動対策不要

SZD311

労務構成比:

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比:

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料			バックホウ [クローラ型] 賃料		KQ003
大型ブレーカ [油圧式]			大型ブレーカ [油圧式]		MC063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

施工 第0-0035号内訳表

1 m 2 当り

SZD311
騒音振動対策不要

全ての費用
市場単価構成比：

標準単価：

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0036号内訳表

SZA961

6.0km以下

全ての費用

1

m 3 当り

殻運搬
 舗装版破碎
 機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0037号内訳表

SZA961

6.5km以下

全ての費用

1

m 3 当り

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0040号内訳表

100 m² 当り

路盤工（人力施工）
車道部下層路盤

S1808
仕上り厚530mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			RA010 路盤材敷均し・小運搬
再生クラッシュラン RC-40	68.370	m ³			TCF04 100×仕上厚×1.29
諸雑費		%			#01
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

施工 第0-0041号内訳表

100 m² 当り

路盤工 (人力施工)
歩道部路盤

S1808
仕上り厚170mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			RA010 路盤材敷均し・小運搬
再生クラッシュラン RC-40	21.930	m ³			TCF04 100×仕上厚×1.29
諸雑費		%			#01
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

施工 第0-0042号内訳表

100 m² 当り

路盤工 (人力施工)
車道部下層路盤

S1808
仕上り厚 200mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			RA010 路盤材敷均し・小運搬
再生クラッシュラン RC-40	25.800	m ³			TCF04 100×仕上厚×1.29
諸雑費		%			#01
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

施工 第0-0043号内訳表

100 m² 当り

路盤工（人力施工）
車道部下層路盤

S1808
仕上り厚100mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			RA010 路盤材敷均し・小運搬
クラッシュラン C-40	12.900	m ³			TCD14 100×仕上厚×1.29
諸雑費		%			#01
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

施工 第0-0044号内訳表

SZD009

1. 4m未満(1層当平均仕上厚50mm超100mm以下) 全ての費用

1

m 2 当り

上層路盤(車道・路肩部)

瀝青安定処理

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式]		MC246
振動コンパクタ [前進型]			振動コンパクタ [前進型]		MC274
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

施工 第0-0044号内訳表

上層路盤（車道・路肩部）

SZD009

1.4m未満(1層当平均仕上厚50mm超100mm以下) 全ての費用

1

m 2 当り

瀝青安定処理

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

機械構成比：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生AS安定処理(40)			アスファルト混合物(安定処理材) アスファルト安定処理(40)		T1476
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TG402
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工内訳表

施工 第0-0044号内訳表

SZD009

1.4m未満(1層当平均仕上厚50mm超100mm以下) 全ての費用

1

m 2 当り

上層路盤(車道・路肩部)

瀝青安定処理

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0045号内訳表

100 m² 当り

路盤工 (人力施工)
車道部上層路盤

S1808
仕上り厚170mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			RA010 路盤材敷均し・小運搬
粒度調整碎石 M-40	21.930	m ³			TCD20 100×仕上厚×1.29
諸雑費		%			#01
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

施工 第0-0046号内訳表

基層（車道・路肩部）

SZD021

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2 当り

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ（舗装用） [ハンドガイド式]			振動ローラ（舗装用） [ハンドガイド式]		MC246
振動コンパクタ [前進型]			振動コンパクタ [前進型]		MC274
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

施工 第0-0046号内訳表

基層（車道・路肩部）

SZD021

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2 当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生粗粒度アスコン(20)			再生アスファルト混合物 粗粒度(20)		T1478
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		TG404
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工内訳表

施工 第0-0046号内訳表

基層 (車道・路肩部)

SZD021

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 5 0 mm

全ての費用

1

m 2

当り

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0047号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2 当り

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]			振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]		MC246
振動コンパクタ [前進型]			振動コンパクタ [前進型]		MC274
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

施工 第0-0047号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生粗粒度アスコン (20)			アスファルト混合物 密粒度 (20)		T1478
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		TG404
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工内訳表

施工 第0-0047号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m² 当り

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0048号内訳表

表層 (歩道部)

SZD027

平均仕上り厚 30 mm

全ての費用

1

m 2

当り

1.4m以上

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

標準単価 :

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ [クローラ型]			アスファルトフィニッシャ [クローラ型]		MC361
振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料			振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料		KQ870
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070

施工内訳表

施工 第0-0048号内訳表

表層 (歩道部)

SZD027

平均仕上り厚 30 mm

全ての費用

1

m 2 当り

1.4m以上

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

標準単価 :

代表機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他 (労務)			その他 (労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生密粒度アスコン (13)			再生アスファルト混合物 密粒度 (13)		T1482
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TG402
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他 (材料)			その他 (材料)		EZ009

施工内訳表

施工 第0-0048号内訳表

1 m² 当り

SZD027

平均仕上り厚 30 mm

全ての費用

1

標準単価:

材料構成比:

市場単価構成比:

労務構成比:

表層 (歩道部)

1.4m以上

機械構成比:

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0049号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

平均仕上り厚 30 mm

全ての費用

1

m 2

当り

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]			振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]		MC246
振動コンパクタ [前進型]			振動コンパクタ [前進型]		MC274
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

施工 第0-0049号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 30 mm

全ての費用

1

m 2 当り

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

標準単価 :

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生密粒度アスコン (13)			アスファルト混合物 密粒度 (20)		T1482
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TG402
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工内訳表

施工 第0-0049号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 30 mm

全ての費用

1

m²

当り

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0054号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2

当り

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

機械構成比 :

労務構成比 :

材料構成比 :

市場単価構成比 :

標準単価 :

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]			振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]		MC246
振動コンパクタ [前進型]			振動コンパクタ [前進型]		MC274
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

施工 第0-0054号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生密粒度アスコン (20)			アスファルト混合物 密粒度 (20)		T1480
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用		TG404
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
軽油 1.2号 パトロール給油			軽油 1.2号 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工内訳表

施工 第0-0054号内訳表

1 m 2 当り

SZD023

平均仕上り厚 5 0 m m

全ての費用

1

標準単価:

市場単価構成比:

材料構成比:

労務構成比:

表層 (車道・路肩部)

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

機械構成比:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
小計					

特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
工 程 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 本工事の工期は、週休2日制及び雨天、その他年末年始休暇等を見込んでいる。 ○2 河川工事に関する工事であるため、出水期を考慮している。 ○3 本工事区間は、_____工事が_____月_____日頃まで施工中なので、工程等に注意すること。 ○4 _____と協議の結果、_____の条件があるので、工程等に注意すること。 ●5 その他 内容：別発注の石田地区下水道工事の請負者と安全協議会を設立し、工事の円滑な進捗に努めること。
用 地 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事用地等に未処理部分があるので、監督員と協議のうえ、立入り等を行うこと。 なお、平成_____年_____月_____日頃、解決の見込である。 ○2 その他 内容：
公 害 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵等）のため、次のとおり行うこと。 A. 施工方法： B. 機械施設： C. 作業時間： ●2 本工事の着手と完成時に、付近の家屋及び工作物等の外観調査を行い、工事による影響を把握すること。なお、調査方法、範囲等については、監督員と協議すること。 ○3 その他 内容：
安 全 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 全作業員に対して、工事期間中定期的に安全教育、研修訓練を、月1回・半日以上必ず行い、施工計画書等に明記すること。特に、作業員が変わったとき及び、作業内容に変更があったときは必ず行うこと。 ●2 一般交通の支障となる箇所には、交通安全管理に十分注意し、道路工事保安施設設置基準により保安施設等を設置し施工すること。 ●3 交通整理員については、警備業者の作業員とし交通整理及び、作業車の誘導等の作業を行うものとする。また、配置場所については、最も適切な位置を選定すること。 交通整理人は、延べ 112 名配置を設計で見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合は別途協議による。 なお、工事完了後、安全管理についての交通整理日報(様式-1)を提出すること。 ○4 その他 内容：
過 積 載 防 止 対 策 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 (1) 積載重量制限を超えて工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込まないこと。 (2) 差枠装着車、不表示車等に工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込まないこと。 (3) 過積載車両、差枠装着車、不表示車等から工事用資材・土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプトラック等事業者が過積載を行っている場合又は、差枠装着車、不表示車等を工事用資材・土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び、骨材等資材の購入にあたっては、下請け業者及び、骨材等資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○2 その他 内容：
工 事 用 道 路 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 搬入路の取扱は、次のとおり行うものとする。 内容： ○2 仮設道路を次のとおり設置する。 内容： ●3 周辺道路への損傷を把握するため、着工前と完成後に現状調査を実施すること。 ○4 その他 内容：
仮 設 備 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 仮設備の構造及び、その施工法を次のとおり指定する。 内容： ●2 仮設備（現場事務所、資材置き場、工事用通路等）の設置のために、農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を借地する場合は次のとおりとする。 (1) 農地等が租税特別処置法による納税猶予等の対象となっているときは仮設予定地としてはならない。 (2) 請負者は、登記簿等により農地等に関する資料を収集し、監督員と協議するものとする。資料収集に要する費用は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (3) 農地等の借地権は町が取得することとするが、その契約に要する費用及び賃貸料は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (4) 農地等は必ず現状に回復し、農地等所有者に返還するものとする。
排 水 工 (濁 水 処 理 を 含 む) 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 河川土工等で、河川を汚濁させる場合は事前に協議のうえ、その対策の措置を講ずること。 ○2 濁水、湧水等の処理で次の対策を行うこと。 内容： ○3 その他 内容：
工 事 支 障 物 件 等	<ul style="list-style-type: none"> ○1 電柱・地下埋設等の占用物件の工事支障物については、次のとおり行う予定である。 A. 支障物件： B. 移設・撤去方法： C. 移設・撤去時期： ●2 工事区間には、占用物件[上水道・下水道・電話・電気・ガス等]がある(又は工事中)ので、占用物件管理者と施工方法、工程管理等の打合せを行い、工事に支障のないように調整すること。 ○3 その他 内容：

項目	事項																											
建設副産物関係	<p>●1 建設発生土管理基準関係</p> <p>① 工事を実施するにあたっては、<u>再生資源利用〔促進〕計画書</u>を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、<u>再生資源利用〔促進〕実施書</u>を作成して、工事完成後速やかに実施書を発注者に提出し、COBRISに情報の登録をすませ監督員に確認させること。また、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。 なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合でも、再生資源利用〔促進〕実施書は提出するものとする。 また、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)入力システムを利用するものとする。</p> <p>② 建設副産物処理に先立ち、別紙<u>建設副産物処理承認申請書</u>により監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。</p> <p>③ 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者(元請業者)は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結すること。</p> <p>④ 建設副産物処理完了後速やかに別紙<u>建設副産物処理調書</u>を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料(位置図、写真等)を提示し確認を受け、竣工図書に添付すること。</p> <p>⑤ 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「<u>産業廃棄物管理票(マニフェスト)</u>」の交付・回収した各票を監督員に提示し確認を受け、<u>巨票の写し</u>を竣工図書に添付すること。 なお、回収したマニフェストについては廃棄物の処理及び清掃に関する法律を踏まえ適切に保存すること。</p> <p>●2 建設副産物の処理基準関係</p> <p>●土砂捨土処理について</p> <p>① 土砂処理条件(小割・仮置き等)</p> <p>イ) 捨土の種類 岩魂は、径30cm未満に破碎するものとする。最大寸法30cm未満の塊を含む土砂を処理することは可。 ロ) 日曜・祭日・夜間の捨土は原則として不可。 ハ) 夜間発生する土砂は、仮置きして運搬捨土するものとする。</p> <p>② 土砂処理場所</p> <p>○指定(A) 残土の処分場所は、_____とする。 ●指定(B) 残土の処分場所は、7.5kmの範囲内に処理すると想定するが、発注後、請負者の裁量により処分地を確保するものとし、運搬距離については別途協議する。</p> <p>○建設発生土処理先の見やすい場所に必ず標識を掲げること。</p> <p>●建設リサイクル法対象工事について</p> <p>1. 本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、建設リサイクル法に基づき、分別解体及び再資源化等の実施について適正に処理するものとする。</p> <p>① 分別解体の方法</p>																											
	<table border="1" data-bbox="319 1019 1543 1220"> <thead> <tr> <th data-bbox="319 1019 399 1220">工程毎の作業内容</th> <th data-bbox="399 1019 718 1052">工程</th> <th data-bbox="718 1019 1085 1052">作業内容</th> <th data-bbox="1085 1019 1543 1052">分別解体の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="319 1052 399 1086">① 仮設</td> <td data-bbox="399 1052 718 1086"></td> <td data-bbox="718 1052 1085 1086">仮設工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1085 1052 1543 1086"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1086 399 1120">② 土工</td> <td data-bbox="399 1086 718 1120"></td> <td data-bbox="718 1086 1085 1120">土工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1085 1086 1543 1120"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1120 399 1153">③ 基礎</td> <td data-bbox="399 1120 718 1153"></td> <td data-bbox="718 1120 1085 1153">基礎工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1085 1120 1543 1153"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1153 399 1187">④ 本体構造</td> <td data-bbox="399 1153 718 1187"></td> <td data-bbox="718 1153 1085 1187">本体構造の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1085 1153 1543 1187"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1187 399 1220">⑤ 本体付属品</td> <td data-bbox="399 1187 718 1220"></td> <td data-bbox="718 1187 1085 1220">本体付属品の工事 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1085 1187 1543 1220"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1220 399 1254">⑥ その他(アスファルト取り壊し)</td> <td data-bbox="399 1220 718 1254"></td> <td data-bbox="718 1220 1085 1254">その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</td> <td data-bbox="1085 1220 1543 1254"><input type="checkbox"/>手作業 <input type="checkbox"/>手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 処理について 本工事から発生するアスファスト廃材及びコンクリート廃材は、建設リサイクル法、栃木県土木工事必携建設副産物適正処理推進要綱により、適正に処理するものとする。</p> <p>③ 処理条件 アスファルト塊、コンクリート塊の建設廃棄物は、径30cm未満に小割りし、下記再生資源化施設(破碎工場)に、持込み処分するものとする。 再生資源化施設名(コンクリート塊) : _____ 再生資源化施設名(アスファルト・コンクリート塊) : 瑞穂瀝青工業(株) 宇都宮市瑞穂 3-8-1 L=5.9km 再生資源化施設名(アスファルト・コンクリート塊) : _____ 再生資源化施設名(木材) : _____</p> <p>④ 請負者は分別解体等・再資源化が完了したときには、建設リサイクル法第18条に基づき、別途<u>様式1</u>により監督員に報告することとする。</p> <p>⑤ 本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」に基づき適正に処理しなければならない。また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は、設計変更の対象とする。 積算上の処理施設 : (株)セルクリーンセンター 宇都宮市平出 L=12.6km</p> <p>⑤ 工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>⑥ その他 内容:</p> <p>●再生材の利用基準関係(再生クラッシャーラン、再生加熱アスファルト混合物)</p> <p>① 請負者は、再生材の使用にあたっては、「再生材の利用基準」(県土木部制定)に準拠することとし、監督員が別途提示する再生資源化施設に、<u>再生材の供給確認書(様式2)</u>で、供給の可否を確認し、監督員に提出すること。なお、再生材が供給不能な場合は、別途協議すること。 また、現場搬入開始時に目視による品質確認状況を写真に記録するとともに、<u>再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書</u>を作成のうえ、速やかに監督員に提出すること。なお、報告書については、当該工事における再生クラッシャーランの搬入開始時に1枚作成し、その他供給元が変更する毎の初回搬入時に1枚作成する。</p> <p>② 請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)を使用する場合、3ヶ月以内の材料試験成績表を提出し承認を受けるものとする。なお、使用時期と承認時期がずれる場合は、使用3ヶ月以内の材料試験成績表を、再度提出し承認を受けること。</p> <p>③ 請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)が500m³以上又は監督員が指示する場合、請負者の責任において試料を採取し、公的試験機関(財)栃木県建設技術センター等)での材料試験成績を提出するものとする。</p> <p>●建設発生土の搬出先への情報提供要領関係 本工事から発生する建設発生土を100m³以上、当該工事現場の市町村から他の市町村へ搬出する場合には、「建設発生土の搬出先への情報提供要領」に基づき、実施するものとする。</p>	工程毎の作業内容	工程	作業内容	分別解体の方法	① 仮設		仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	② 土工		土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	③ 基礎		基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	④ 本体構造		本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑤ 本体付属品		本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	⑥ その他(アスファルト取り壊し)		その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
工程毎の作業内容	工程	作業内容	分別解体の方法																									
① 仮設		仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
② 土工		土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
③ 基礎		基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
④ 本体構造		本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
⑤ 本体付属品		本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									
⑥ その他(アスファルト取り壊し)		その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用																									

項目	事項
建設副産物関係	<p>○ 建設発生土情報交換システム関係 本工事については、建設発生土の工事間利用を促進するため JACIC 工事データとして登録してあります。設計図書(共通仕様書 1-1-3-2)、または設計図書の変更により、工事データに変更が生じる場合は、登録内容を変更するものとする。 (原則として、搬入(不足)土量 500m³以上、搬出(発生)土量 1,000m³以上の工事)</p> <p>○6 その他 内容:</p>
主任技術者	<p>●1 主任技術者の選定 栃木県建設工事請負契約約款第11条第1項に規定する主任技術者は、原則として下記の基準の者を定め、選任通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの(写しでも可)を添付すること。</p> <p>①請負対象額7,000万円以上の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という)のうち、検定項目を一級建設機械施工管理または一級土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ロ)技術士法(昭和32年法律第124号)による本試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門(選択科目を「農業土木」とするものに限る)または林業部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る)とするものに合格した者。</p> <p>②請負対象額3,000万円以上7,000万円未満の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)上記イに掲げる者または技術検定のうち、検定科目を二級建設機械施工管理または二級土木施工管理とするものに合格した者。 ロ)上記ロに掲げる者。</p>
工事カルテ	<p>● 工事カルテの作成、登録 請負者は、受注時又は変更時に工事請負額が500万円以上の工事について、工事情報実績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録期間に登録申請しなければならない。(ただし、工事請負額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。)なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。</p>
アルカリ骨材反応抑制対策	<p>●アルカリ骨材反応抑制対策について 土木構造物に使用されるコンクリートおよびコンクリート工場製品において適用する。ただし仮設構造物のように長期の耐久性を期待しなくてもよいものは除く。また特殊な材料を用いたコンクリートや特殊な配合のコンクリートについては別途検討を行うこと。</p> <p>1. 現場における対処の方法 請負者は、土木構造物に使用するコンクリートについて、アルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの場合による対処の方法を取らなければならない。</p> <p>a. 現場でコンクリートを製造して使用する場合…現地における骨材事情、セメントの選択の余地等を考慮し、2.1～2.3のうちどの対策を用いているか決めてからコンクリートを製造する。</p> <p>b. レディーミクストコンクリートを購入して使用する場合…レディーミクストコンクリート生産者と協議して2.1～2.3のうちどの対策によるものを納入するかを決めそれを指定する。なお、2.1、2.2を優先する。</p> <p>c. コンクリート工場製品を使用する場合…プレキャスト製品を使用する場合、製造業者に2.1～2.3のうちどの対策によっているものかを報告させ適しているものを使用する。</p> <p>2. 抑制対策の実施方法 2.1 コンクリート中のアルカリ総量の抑制 試験成績表に示されたセメントの全アルカリ量の最大値のうち直近6ヶ月の最大値(Na₂O換算値%) / 100 × 単位セメント量(配合表に示された値kg/m³) + 0.53 × (骨材中のNaCl%) / 100 × (当該単位骨材量kg/m³) + 混和剤中のアルカリ量kg/m³が3.0kg/m³以下であることを計算で確かめるものとする。防錆剤等使用量の多い混和剤を用いる場合には、上式を用いて計算すればよい。なお、AE剤、AE減水剤等のように、使用量の少ない混和剤を用いる場合には、簡易的にセメントのアルカリ量だけを考慮して、セメントのアルカリ量 × 単位セメント量が2.5kg/m³以下であることを確かめればよいものとする。</p> <p>2.2 抑制効果のある混合セメントの使用 高炉セメントB種(スラグ混合比40%以上)またはC種、もしくはフライアッシュセメントB種(フライアッシュ混合比15%以上)またはC種であることを試験成績表で確認する。また、混和材をポルトランドセメントに混入して対策をする場合には、試験等によって抑制効果を確認する。</p> <p>2.3 安全と認められる骨材の使用 JIS A 1145骨材のアルカリ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」による骨材試験は、工事開始前、工事中1回/6ヶ月かつ産地がかかった場合に信頼できる試験期間^(注)で行い、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。また、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)または、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)」による骨材試験の結果を用いる場合には、試験成績表により確認するとともに、信頼できる試験期間^(注)においてJIS A 1804「コンクリート生産工程管理用試験方法—骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(迅速法)」で骨材が無害であることを確認するものとする。この場合、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。なお、2次製品で既に製造されたものについては、請負者が立ち会い、製品に使用された骨材を採取し、試験を行って確認するものとする。フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材等の人工骨材及び石灰石については、試験成績表による確認を行えばよい。 (注)公的機関またはこれに準じる機関(大学、都道府県の試験機関、公益法人である民間試験機関、その他信頼に値する民間試験機関、人工骨材については製造工場の試験成績表でよい)</p> <p>3. 外部からのアルカリの影響について 2.1および2.2の対策を用いる場合には、コンクリートのアルカリ量をそれ以上に増やさないことが望ましい。そこで、下記のすべてに該当する構造物に限定して、塩害防止も兼ねて塗装等の塩分浸透を防ぐための措置を行うことが望ましい。</p> <p>1) 既に塩害による被害を受けている地域で、アルカリ骨材反応を生じるおそれのある骨材を用いる場合 2) 2.1、2.2の対策を用いたとしても、外部からのアルカリの影響を受け、被害を生じると考えられる場合 3) 橋桁等、被害を受けると重大な影響をうける場合</p>

項 目	事 項				
現場代理人の兼任について	<ul style="list-style-type: none"> ●1 現場代理人の専任を要する工事である。 ○2 現場代理人を兼任しても現場の運営、取締り等に支障がない工事である。(上三川町発注工事を1箇所まで) <ul style="list-style-type: none"> ○2.1 請負額3千万円未満の工事との兼任を認める ○2.2 請負額3千万円未満かつ工種が舗装である工事との兼任を認める ○2.3 請負額1千万円未満の工事との兼任を認める 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事現場発生品があるので、その取扱は次のとおり行うものとする。 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">品 名 :</td> <td>数 量 :</td> </tr> <tr> <td>現場内使用の有無 :</td> <td>搬 出 場 所 :</td> </tr> </table> ●2 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 電波法の遵守・不法無線局搭載車両の使用禁止とし、不法無線局を搭載、又は使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (2) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○3 内容:その他 	品 名 :	数 量 :	現場内使用の有無 :	搬 出 場 所 :
品 名 :	数 量 :				
現場内使用の有無 :	搬 出 場 所 :				
暴力団員等による不当介入を受けた場合について	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 上三川町が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 ● 2 上記●1により警察に通報を行い、捜査上必要な協力をを行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。 ● 3 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。 				

電子納品に関する特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
電子納品の対象書類	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 工事管理情報 (XML形式) ○ 2 発注図 (SFC形式) ○ 3 特記仕様書 (PDF形式) ○ 4 打合簿 (PDF形式) ○ 5 施工管理資料 (PDF形式) ○ 6 施工計画書 (PDF形式) ● 7 完成図 (SFC形式) ● 8 工事写真 (JPEG形式) ○ 9 その他 () (PDF形式) ● 10 対象書類以外に電子納品を行う場合は、監督員との協議により実施すること。
電子納品に関し適用する要領・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 上三川町建設工事電子納品実施要領(案)(平成21年4月) ● 2 栃木県 CALS/EC 電子納品運用に関するガイドライン(案)第10版(平成26年4月) ● 3 工事完成図書電子納品要領 (令和4年3月) 国土交通省 ● 4 デジタル写真管理情報基準 (令和2年3月) 国土交通省 ○ 5 CAD 製図基準 (平成29年3月) 国土交通省
電子納品のフォルダ作成	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 工事写真のみを電子納品する場合は、フォルダの作成は必要としない。 ○ 2 工事写真以外の書類を電子納品する場合は、電子納品実施要領(案)に基づき全てのフォルダを作成すること。
事前協議	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 工事着手時には「電子納品事前協議チェックシート(土木工事)」(様式-1)により、電子納品対象書類、ファイル形式、作成ソフト等の協議を行うこと。
成果品の提出	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 成果品の提出に使用する電子媒体はCD-Rとする。 ● 2 成果品は基本的には、1枚のCD-Rに格納する。 ● 3 成果品は、正副各1枚ずつ計2枚を提出する。 (正副各1枚の場合のラベル表示は「正1/1」「副1/1」とする) ● 4 CD-Rのラベル及びケースには、「電子納品実施要領(案)」に基づき、必要な情報を記載すること。 ● 5 CD-Rのラベルは、CD-R表面へのプリンタ直接印字または油性マジック等での書込みとする。(ボールペン・鉛筆など硬質な筆記具の使用不可) ※ラベルシール等の貼付けはしないこと。(全面貼付けも不可)
インデックスプリント(簡易写真帳)の提出	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 工事写真の電子納品にあわせてインデックスプリントを作成し、検査時に提出する。インデックスプリントとはA4サイズの紙に代表写真のみを抜粋してカラー印刷したもので、縦5行・横3列の15枚ずつを原則とする。各写真の下に「工種」「写真タイトル」「撮影箇所」を3行で記入すること。(極力枚数を少なくし、簡易な製本とする。) ● 2 代表写真は、工事全体の流れがわかる写真とし、「栃木県土木工事共通仕様書」の「栃木県土木工事写真管理基準(案)」における提出頻度程度(提出枚数は、電子納品した写真データの1割程度を目安)とする。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 提出する CD-R 内には閲覧ソフト(ビューソフト)を入れないこと。 ● 2 疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し指示を受けること。

施設管理台帳図作成に関する仕様書

第1章 総則

第1条 (目的)

本仕様書は、下水道施工分について、上三川町（以下「発注者」という。）が下水道管の管理に必要な施設管理台帳図を作成することを目的とする。

第2章 仕様

第1条 (データ仕様)

1. CADデータ

施設管理台帳図は発注者より貸与された発注図（CADデータ）等の資料を基に平面図、縦断図、横断面図の修正を行う。

作成するデータはSXF（s f c）形式とし、作成に関しては「栃木県 CALS/EC 電子納品に関するガイドライン（案）」を参照すること。

2. 画像データ作成

作成したCADデータより、200dpi 以上のPDF作成を行う。

ファイル名の付与に関してはCADデータのファイル名に準じること。

第2条 (記入要領)

1. 施設管理台帳図には、次の事項を記入すること。

- (1) 築造物に関するすべての事柄（実際の距離、深さ、勾配、管径等を数字で記入）
- (2) 開削、推進等、工法、基礎材、補助・単独の区別
- (3) 発注図に記載された数値は消去し、完成した数値を記載する。
- (4) 占用位置（m 単位、小数点以下2位まで記入）

管 渠

管渠の占用位置のオフセットは、道路境界からとする。また、圧送管等で路線が長区間の場合は、150m 程度間隔にオフセットを記入すること。

人 孔

人孔のオフセットは、道路境界（交差点であれば交差点角、側溝端、舗装端）から人孔中心の距離とし、1人孔につき2箇所以上とすること。電柱や止水栓等の他企業占用物からのオフセットとしないこと。また、特殊人孔のオフセットは、別に平面図等を作成し（構造図の代用可）、構造物外法までのオフセットを記入する。

公共汚水柵

公共汚水柵（取出し柵）のオフセットは、上下流側の人孔中心を結んだ線で上流側から公共柵中心までの距離、上下流の人孔中心（管渠の中心）を結んだ位置から直角方向の柵中心までの距離、公共汚水柵の深さの順で柵印の民地側の余白に記入する。

(5) その他記載事項

- ・マンホール番号を余白に記載
- ・公共汚水柵の申請者名を建物内の余白
- ・右下表題の上部に「平成〇〇年度完成 施工者：〇〇〇」と記入する。

(6) 工事の一部が仮設（くい打，覆工等）または、掘削のみで竣工となる場合は、当該部分の管渠等を計画線で記入し、その他は引出線にて、くい打〇〇m，掘削〇〇m，覆工事〇〇㎡と記入すること。

第3条（その他）

1. 施設管理台帳図は，正確かつ鮮明に作成すること。

第4条（納入成果品）

1. 成果品目

- (1) 施設管理台帳図コピー（A3） 縮小図 1部
- (2) 施設管理台帳図CADデータ・施設管理台帳図PDFデータ（CD-R） 2部

2. 提出先

成果品の提出先は、上三川町上下水道課とする。

第3章 その他

- (1) 本仕様書・設計書に記載無き事項で疑義が生じた場合は、速やかに発注者監督員と協議し、その指示に従うものとする。
- (2) 成果品については、発注者の許可無く複製、貸与、流用並びに廃棄してはならない。また、成果品に関する著作権人格権を有する場合においても上三川町及び上三川町指定の者に対してこれを行使しないものとする。

令和 4 年度

(特環) 公共下水道管布設工事 (補助その3)

上三川町大字石田地内

数量計算書
(補助+単独)

路線番号40.43-1,41-3,42,43-2

上 三 川 町

[補 助]

数量総括表

補助

補助その3

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量	変更数量	摘要	
管路	管きょ工(開削) φ200VU	管路土工	管路掘削						
						m ³	774		229 + + 545 + = 774
					機械掘削(予掘) BH0.28m ³ 粘性土	m ³	229		222.6 + 6.8 = 229.4
					機械掘削(予掘) BH0.45m ³ 粘性土	m ³			
					機械掘削(下水道) BH0.28m ³ 粘性土	m ³	545		545.2 + 9.5 = 554.7
					機械掘削(下水道) BH0.45m ³ 粘性土	m ³			
					管路埋戻	m ³	525		302 + + 223 + = 525
					埋戻工1 BH0.28m ³ 投入 タンバ締固め	m ³	302		299.1 + 2.8 = 301.9
					埋戻工1 BH0.45m ³ 投入 タンバ締固め	m ³			
					埋戻工2 BH0.45m ³ 投入 タンバ締固め	m ³	223		215.4 + 7.6 = 223.0
					埋戻工2 BH0.80m ³ 投入 振動ローラータンバ締固め	m ³			
					発生土処理	m ³	191		
					仮置土運搬往路(予掘) BH0.28m ³ DT4t L=0.5km	m ³	229		
					仮置土運搬往路(予掘) BH0.45m ³ DT10t L=0.5km	m ³			
					仮置土運搬往路(下水道) BH0.28m ³ DT4t L=0.5km	m ³	545		
					仮置土運搬往路(下水道) BH0.45m ³ DT10t L=0.5km	m ³			
					仮置土積込 BH0.80m ³	m ³	774		229 + + 545 + = 774
					仮置土運搬復路 BH0.80m ³ DT10t L=0.5km	m ³	583		(302 + + 223 +)/ 0.9 = 583.3
					残土運搬 BH0.80m ³ DT10t L=7.5km	m ³	191		774 - 583 = 191
					管布設工	硬質塩化ビニル管			m

数量総括表

補助

補助その3

工事区分	工種	種別	細別	規 格	単位	設計数量	変更数量	摘 要
				管布設工 φ150	m	8.0		8.00
				管布設工 φ200	m	276.3		276.27
				硬質塩化ビニル管 φ150×4000(ゴム輪受口)	本	1		
				硬質塩化ビニル管 φ200×4000(ゴム輪受口)	本	66		
				硬質塩化ビニル管 φ150×4000(プレーンエンド)	本	1		
				硬質塩化ビニル管 φ200×4000(プレーンエンド)	本	4		
			継手類		箇所	11		
				可とう性継手 VUφ150	個	1		
				可とう性継手 VUφ200	個	10		
			マンホール削孔接続		箇所	8		1 + 2 + 5 = 8
				削孔費 VUφ100(1号マンホール)	箇所	1		
				削孔費 VUφ150(1号マンホール)	箇所	2		
				削孔費 VUφ200(1号マンホール)	箇所	5		
				削孔費 VUφ200(0号マンホール)	箇所	1		
		管基礎工	砂基礎		m	283.1		275.17 + 7.92 = 283.1
				砂基礎工 再生砂 BH0.28m ³ 投入	m ³	103		99.6 + 2.9 = 102.5
		管路土留工	建て込み簡易土留		m	290.0		
			φ150mm	建込簡易土留建込・引抜き 平均H=2.24m B=0.90m	m	8.5		8.45
			φ200mm	建込簡易土留建込・引抜き 平均H=3.04m B=0.95m	m	281.5		281.45
				土留賃料	式	1		

数 量 総 括 表

補 助

補助その3

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	変更数量	摘 要
	マンホール工							
		組立マンホール工	組立1号マンホール		箇所	4		
				鉄蓋(受枠共) T-14 φ600mm	組			
				鉄蓋(受枠共) T-25 φ600mm	組	4		
				無収縮モルタル	kg	85		5.33kg/cm × 16cm = 85.3
				調整リング H=100mm	個	8		
				調整リング H=150mm	個			
				斜 壁 600×900×450	個	3		
				斜 壁 600×900×600	個	1		
				直 壁 900×300	個	2		
				直 壁 900×600	個	2		
				直 壁 900×900	個			
				躯体ブロック 900×1500	個			
				躯体ブロック 900×1800	個	4		
				底 版 H=130mm	個	4		
				ブロック据付工 人孔深H=3.00mまで	箇所	2		
				ブロック据付工 人孔深H=4.00mまで	箇所	2		
				底部工 RC-40	箇所	4		
				インバート工	箇所	5		4 + 1 = 5
				副管設置工 φ100VU H=0.84m	箇所	1		

数量総括表

補助

補助その3

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量	変更数量	摘要
		小型マンホール工	レジンマンホール		箇所	1		
				鉄蓋(受枠共) T-14 φ300mm	組			
				鉄蓋(受枠共) T-25 φ300mm	組	1		
				調整リング H=50mm	個	1		
				上部壁 H=200mm	個	1		
				中間壁 H=100mm	個			
				中間壁 H=150mm	個			
				中間壁 H=300mm	個			
				中間壁 H=400mm	個			
				中間壁 H=500mm	個			
				中間壁 H=600mm	個	2		
				中間壁 H=900mm	個	1		
				インバート部 φ200用 90° ~270° H=370mm	個	1		
				底板 H=70mm	個	1		
				管取付アダプター VU200流入	個	1		
				管取付アダプター VU200流出	個	1		
				ソケットリング 300標準	個	3		
				ソケットリング 300断熱	個	1		
				小型マンホール設置工 人孔深H=1.50mまで	箇所			
				小型マンホール設置工 人孔深H=2.00mまで	箇所			

数量 総 括 表

補助

補助その3

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	変更数量	摘 要
	付帯工							
		舗装撤去工	舗装版切断		m	594.1		15.5 + 578.6 = 594.1
				As t=15cm以下	m	15.5		t=5cm t=3cm 10.9 + + 4.6 = 15.5
				As t=15cm超え30cm以下	m	578.6		t=17cm t=17cm 552.0 + 11.4 + 15.2 = 578.6
			濁水処理		m ³	2.3		+ + 2.3 = 2.3
				As t=3cm	m ³			0.023 × 0.03 × 4.6 =
				As t=5cm	m ³			0.023 × 0.05 × 10.9 = 0.01
				As t=17cm	m ³	2.3		0.023 × 0.17 × 578.6 = 2.26
			舗装版破碎		m ²	294		10 + 284 = 294
				舗装版直接掘削・積込 As t=15cm以下 BH0.45m ³	m ²	10		t=5cm t=3cm 5.2 + + 5.0 = 10.2
				舗装版破碎 As t=15cm超え40cm以下 BH0.45m ³	m ²	284		t=17cm t=17cm 262.5 + 5.1 + 16.3 = 283.9
			殻運搬処理		m ³	49		
				BH0.45m ³ 積込 DT10t L=5.9km As t=17cm	m ³	48		44.7 + 0.9 + 2.78 = 48.38
				BH0.45m ³ 積込 DT10t L=5.9km As t=5cm	m ³	0.3		0.3 + + = 0.3
				BH0.45m ³ 積込 DT10t L=5.9km As t=3cm	m ³	0.2		+ + 0.15 = 0.2
				As処理費	m ³	49		
			下層路盤工		m ²	297		284 + 5 + 5 + 3 = 297
				県道(車道) 人力施工 再生骨材RC40 t=53cm	m ²	284		262.5 + 5.1 + 16.3 = 283.9
				県道(歩道) 人力施工 再生骨材RC40 t=17cm	m ²	5		5.0 = 5.0
				町道(車道) 人力施工 再生骨材RC40 t=20cm	m ²	5		5.2 + + = 5.2

補助		数量計算表												補助その3			
設計条件	管径	掘削幅	掘削土質	土留種別	管基礎条件	埋戻土条件	舗装構成								その他		
	VU 200	W 0.95 バックホウ 0.28	粘性土	たて込み簡易	基礎種別 砂基礎	発生土	現況				復旧				基礎断面積 Ak = 0.362 m ²	管外断面積 A = 0.037 m ²	
							管理者の別	県道(車道)	町道(車道)	砂利道	コンクリート道	県道(車道)	町道(車道)	砂利道			コンクリート道
							全厚(cm)	70	40	10		70	40	10			
							表層(cm)	5	5			5	3				
							中間層(cm)										
基層(cm)							5				5						
上層(cm)	7	15			7	17											
下層(cm)	53	20	10		53	20	10										
路線番号	測点 (マンホール番号)	掘削深 (m)	平均掘削深 H	路線延長 L	掘削工					埋戻工					道路 種別	備考 (土工平均断面)	
	上流側	上流側 A	(m)	(m)	舗装復旧工	舗装版直接 掘削 As (m ²)	舗装切断工	予掘り工 Y (m ³)	機械掘削工 Z (m ³)	埋戻1 発生土 G (m ³)	発生土	発生土	埋戻2 発生土 I (m ³)	残土処分 アスファルト塊 土砂			
	下流側	下流側 B			(m ²)	(m)	W×L	W×L	L×2	W×(1.0-t) ×L	W×(H-1.0) ×L	W×hg×L					W×hi×L
40	40-2	3.17															掘削深= 3.14 舗装= 0.70 埋戻1= 1.22 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
40	40-3	3.11	3.14	60.00	57.0	57.0	120.0	47.3	122.0	69.5			45.6	9.7	41.4	県道	掘削深= 3.14 舗装= 0.70 埋戻1= 1.22 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
40	43-1-1	3.14	3.14	69.00	65.6	65.6	138.0	54.4	140.3	80.0			52.4	11.1	47.6	県道	掘削深= 3.14 舗装= 0.70 埋戻1= 1.22 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-1	43-1-1	3.16															掘削深= 3.06 舗装= 0.70 埋戻1= 1.14 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-1	43-1-2	2.95	3.06	65.00	61.8	61.8	130.0	51.3	127.2	70.4			49.4	10.5	45.4	県道	掘削深= 2.94 舗装= 0.70 埋戻1= 1.02 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-1	43-1-2	2.97															掘削深= 2.94 舗装= 0.70 埋戻1= 1.02 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-1	43-1-3	2.91	2.94	35.00	33.3	33.3	70.0	27.6	64.5	33.9			26.6	5.7	24.9	県道	掘削深= 2.87 舗装= 0.70 埋戻1= 0.95 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-1	43-1-3	2.92															掘削深= 2.87 舗装= 0.70 埋戻1= 0.95 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-1	43-3-1	2.82	2.87	35.00	33.3	33.3	70.0	27.6	62.2	31.6			26.6	5.7	25.1	県道	掘削深= 2.82 舗装= 0.70 埋戻1= 0.90 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
43-3	44-1-1	2.80	2.82	9.00	8.6	8.6	18.0	7.1	15.6	7.7			6.8	1.5	6.6	県道	掘削深= 2.67 舗装= 0.40 埋戻1= 0.75 埋戻2= 1.10 基礎= 0.42
41-3	管止め	2.59															掘削深= 2.67 舗装= 0.70 埋戻1= 0.75 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
41-3	+5.45m	2.75	2.67	5.45	5.2	5.2	10.9	4.9	8.6	3.9			5.7	0.3	2.8	町道(車道)	掘削深= 2.67 舗装= 0.70 埋戻1= 0.75 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
41-3	+5.45m	2.59															掘削深= 2.67 舗装= 0.70 埋戻1= 0.75 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
41-3	43-1-1	2.75	2.67	3.00	2.9	2.9	6.0	2.4	4.8	2.1			2.3	0.5	2.3	県道	掘削深= 2.67 舗装= 0.70 埋戻1= 0.75 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
																	掘削深= 2.67 舗装= 0.70 埋戻1= 0.75 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
																	掘削深= 2.67 舗装= 0.70 埋戻1= 0.75 埋戻2= 0.80 基礎= 0.42
計	加重平均掘削深 =	3.04		281.45	町道(車道) 5.2 県道 262.5	t=5cm 5.2 t=17cm 262.5	t=15cm以下 10.9 t=30cm以下 552.0	BH0.28 222.6	545.2	299.1			215.4	町道(車道) 0.3 県道 44.7	196.1	荷 重 平 均	掘削深= 3.04 舗装= 0.69 埋戻1= 1.12 埋戻2= 0.81 基礎= 0.42

補助		数量計算表												補助その3			
設計条件	管径	掘削幅	掘削土質	土留種別	管基礎条件	埋戻土条件	舗装構成								その他		
	VU 150	W 0.90 バックホウ 0.28	粘性土	たて込み簡易	基礎種別 砂基礎	発生土	現況				復旧				基礎断面積 Ak = 0.312 m ²	管外断面積 A = 0.021 m ²	
							管理者の別	県道(車道)	町道(車道)	砂利道	コンクリート道	国道(車道)	町道(車道)	砂利道			コンクリート道
							全厚(cm)	70	40	10	20		40	10			20
							表層(cm)	5	5		10		3				10
							中間層(cm)										
							基層(cm)	5									
							上層(cm)	7	15				17				
							下層(cm)	53	20	10	10	20	10	10			
路線番号							測点 (マンホール番号)	掘削深 (m)	平均掘削深 H	路線延長 L	掘削工						埋戻工
	上流側	上流側 A	(m)	(m)	舗装復旧工	舗装版直接掘削 As (m ²)	舗装切断工	予掘り工 Y (m ³)	機械掘削工 Z (m ³)	埋戻1 発生土 G (m ³)	発生土	発生土	埋戻2 発生土 I (m ³)	残土処分 アスファルト塊 土砂			
	下流側	下流側 B			(m ²)	(m)	W×L	W×L	L×2	W×(1.0-t) ×L	W×(H-1.0) ×L	W×hg×L			W×hi×L	As	Y+Z-(G+I)/0.9
43-2	管止め	2.20															掘削深= 2.24 舗装= 0.10 埋戻1= 0.37 埋戻2= 1.40 基礎= 0.37
43-2	+2.75m	2.27	2.24	2.75	2.5			2.5	3.1	0.9			3.5			砂利道	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
	+2.75m	2.20															掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
	43-3-1	2.27	2.24	5.70	5.1	5.1	11.4	4.3	6.4	1.9			4.1	0.9	4.0	県道	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																	掘削深= 2.24 舗装= 0.70 埋戻1= 0.37 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
合計	加重平均掘削深 =	2.24	2.24	8.45	砂利道 2.5 県道(車道) 5.1	t=17cm 5.1	t=30cm以下 11.4	6.8	9.5	2.8			7.6	t=5cm 0.9	4.7	加重平均	掘削深= 2.24 舗装= 0.50 埋戻1= 0.37 埋戻2= 1.00 基礎= 0.37

管・基礎数量計算書

補助その3
(硬質塩化ビニル管 200 mm)

補助

路線番号	測 点	路線延長 (m)	人孔による 減長(内径) (m)	副管による 減長 (m)	人孔による 減長(壁厚) (m)	管渠延長 (m)	基礎延長 素掘り部 (m)	基礎延長 土留部 (m)	バックホウ (m ³)	掘削幅 (m)	管基礎 施工角 (度)	管本数 (ゴム輪受口) 4.00 (m/本)	ブレンエント [*] 直管 (m)	可とう性 マンホール継手 (個)	副管分岐用 マンホール継手 1.00 (m/本)
40	No. 40-2 ~ No. 40-3	60.00	0.375+0.45 0.83		0.075+0.075 0.15	59.17		59.02	0.28	0.95	360	14	3.17	2	
40	No. 40-3 ~ No. 43-1-1	69.00	0.45+0.45 0.90		0.075+0.075 0.15	68.10		67.95	0.28	0.95	360	17	0.10	2	
43-1	No. 43-1-1 ~ No. 43-1-2	65.00	0.45+0.45 0.90		0.075+0.075 0.15	64.10		63.95	0.28	0.95	360	16	0.10	2	
43-1	No. 43-1-2 ~ No. 43-1-3	35.00	0.45+0.15 0.60		0.075+0.130 0.21	34.40		34.19	0.28	0.95	360	8	2.40	1	
43-1	No. 43-1-3 ~ No. 43-3-1	35.00	0.15+0.45 0.60		0.130+0.075 0.21	34.40		34.19	0.28	0.95	360	8	2.40	1	
43-3	No. 43-3-1 ~ No. 44-1-1	9.00	0.45+0.45 0.90		0.075+0.075 0.15	8.10		7.95	0.28	0.95	360	2	0.10	1	
41-3	No. 管止め ~ No. 43-1-1	8.45	0.45		0.08	8.00		7.92	0.28	0.95	360	1	4.00	1	
								275.17		幅 0.95					
計		281.45	5.18		1.10	276.27		275.17				66	12.27	10	

土留部砂基礎
 BH 0.28 m³ 275.17 m × 0.362 m³/m = 99.6 m³
 BH 0.45 m³ 0.00 m × 0.446 m³/m = m³
 BH 0.80 m³ 0.00 m × 0.551 m³/m = m³

ブレンエント^{*}直管
 12.27 m ÷ 4.00m/本 = 4 本
 副管分岐用マンホール継手

管・基礎数量計算書

補助その3

(硬質塩化ビニル管 150 mm)

補助

路線番号	測 点	路線延長 (m)	人孔による 減長(内径) (m)	副管による 減長 (m)	人孔による 減長(壁厚) (m)	管渠延長 (m)	基礎延長 素掘り部 (m)	基礎延長 土留部 (m)	バックホウ (m ³)	掘削幅 (m)	管基礎 施工角 (度)	管本数 (ゴム輪受口) 4.00 (m/本)	プレセント [®] 直管 (m)	可とう性 マンホール継手 (個)	備 考
43-2	No. 管止め ~ No. 43-3-1	8.45	0.45		0.08	8.00		7.92	0.28	0.90	360	1	4.00	1	
計		8.45	0.45		0.08	8.00		7.92		幅 0.90		1	4.00	1	

土留部砂基礎
 BH 0.28 m³ 7.92 m × 0.362 m³/m = 2.9 m³
 BH 0.45 m³ 0.00 m × 0.000 m³/m
 + 0.00 m × 0.446 m³/m = m³
 BH 0.80 m³ 0.00 m × 0.551 m³/m = m³

プレセント[®]直管
 4.00 m ÷ 4.00m/本 = 1 本

土留工数量表

補助 VU200

補助その3

路線番号	人孔番号	土留延長 (m)	最大掘削深 (m)	軽量鋼矢板土留工 (m)						木製支保工(m)		たて込み簡易土留工 (m)			備考
				矢板長 1.5m	矢板長 2.0m	矢板長 2.5m	矢板長 3.0m	矢板長 3.5m	矢板長 4.0m	H<2.0m 木製1段	H≥2.0m 木製2段	H≤3.5m	3.5m<H≤4.5m	4.5m<H≤6.0m	
				40	No. 40-2 ~ No. 40-3	60.00	3.17								
40	No. 40-3 ~ No. 43-1-1	69.00	3.14									69.0			
43-1	No. 43-1-1 ~ No. 43-1-2	65.00	3.16									65.0			
43-1	No. 43-1-2 ~ No. 43-1-3	35.00	2.97									35.0			
43-1	No. 43-1-3 ~ No. 43-3-1	35.00	2.92									35.0			
43-3	No. 43-3-1 ~ No. 44-1-1	9.00	2.84									9.0			
41-3	No. 管止め ~ No. 43-1-1	8.45	2.75									8.5			
計		281.45										281.5			

土留工数量表

補助 VU150

補助その3

路線番号	人孔番号	土留延長 (m)	最大掘削深 (m)	軽量鋼矢板土留工 (m)						木製支保工(m)		たて込み簡易土留工 (m)				備考
				矢板長 1.5m	矢板長 2.0m	矢板長 2.5m	矢板長 3.0m	矢板長 3.5m	矢板長 4.0m	H<2.0m 木製1段	H≥2.0m 木製2段	H≤3.0m	3.0m<H≤3.5m	3.5m<H≤4.0m	4.0m<H≤6.0m	
43-2	No. 管止め ~ No. 43-3-1	8.45	2.27									8.5				
計		8.45										8.5				

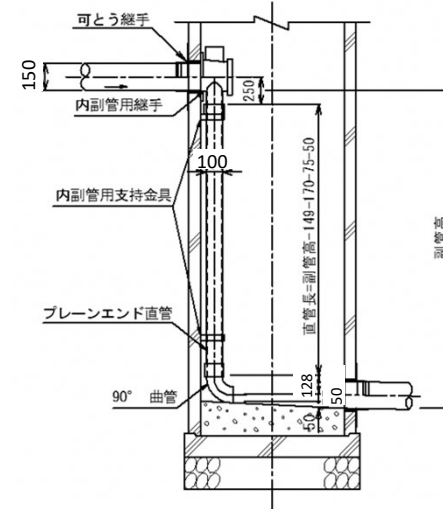
副管数量表

補助

補助その3

人孔 番号	副管高 (H) m	設置数 箇所	直管長 (C) m	内副管用継手 φ100 本	90度曲管 φ100 個	内副管用 支持金具 個		備考
NO	m	箇所	m	本	個	個		
副管径 φ100								
No. 43-1-1	0.84	1	0.507	1	1	2		
合計	0.84	1	0.507	1	1	2		
1箇所当り (平均)	0.84	1	0.51	1	1	2		

副管取付構造図



人孔 番号	副管高 (H) m	設置数 箇所	直管長 (C) m	内副管用継手 φ150 本	90度曲管 φ150 個	内副管用 支持金具 個		備考
NO	m	箇所	m	本	個	個	個	
副管径 φ150								
合計	0.00	0	0.000	0	0	0		
1箇所当り (平均)								

φ100

$$\text{直管長(C)} = H - (0.105 + 0.128 + 0.05 + 0.05)$$

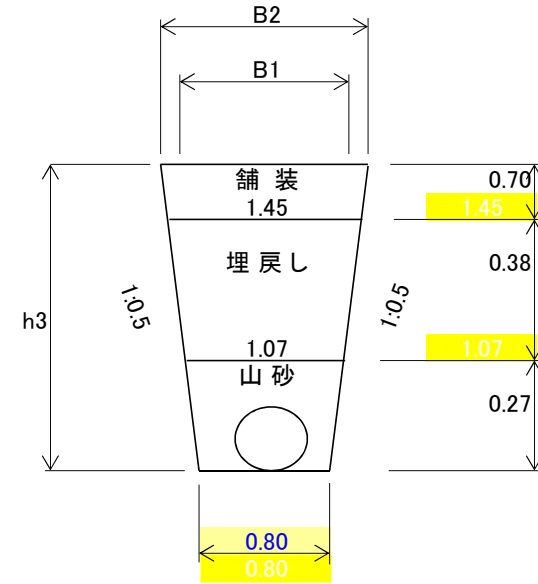
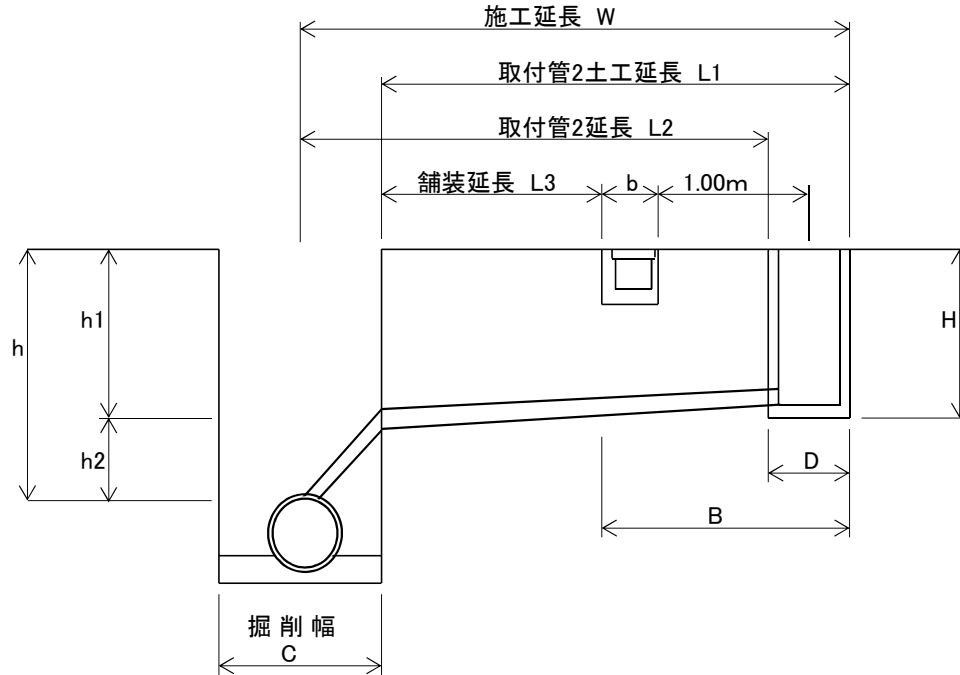
φ150

$$\text{直管長(C)} = H - (0.149 + 0.170 + 0.075 + 0.05)$$

取付管土工数量計算表

補助 県道(車道)

補助その3



平均掘削深 $h = 1.35$ m
 平均掘削幅 $B1 = 1.48$ m
 舗装復旧幅 $B2 = 2.15$ m

山砂厚 $h4 = 0.27$ m
 埋戻し厚 = 0.38 m
 舗装厚 = 0.70 m

1. 舗装版直接掘削

$$2.78 = \frac{2.9}{2.9} \text{ m}^3$$

2. 機械掘削

$$1.48 \times 1.35 \times 17.0 - 2.9 = \frac{31.1}{31.1} \text{ m}^3$$

3. 山砂(再生砂)

$$\{ (0.80 + 1.07) \times 0.27 / 2 - \pi / 4 \times 0.165^2 \} \times 17.0 = \underline{3.9} \text{ m}^3$$

4. 埋戻し

$$(1.07 + 1.45) \times 0.38 / 2 \times 17.0 = \underline{8.1} \text{ m}^3$$

5. 残土処理

土砂 $31 - 8 / 0.9 = \underline{22.1} \text{ m}^3$

As塊 $\underline{2.9} \text{ m}^3$

[单 独]

数 量 総 括 表

単 独

補助その3

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	変更数量	摘 要				
管 路	管きょ工(開削) φ200VU, φ150VU,	管路土工	管路掘削									
						m ³	201		59 + 142 = 201			
				機械掘削(予掘)		m ³	59		49.7 + 8.8 = 58.5			
				機械掘削(下水道)		m ³	142		129.3 + 12.5 = 141.8			
					管路埋戻			m ³	135		78 + 57 = 135	
					埋戻工1			m ³	78		74.2 + 3.9 = 78.1	
					埋戻工2			m ³	57		47.9 + 9.3 = 57.2	
					発生土処理			m ³	51			
					仮置土運搬往路(予掘)			m ³	59			
					仮置土運搬往路(下水道)			m ³	142			
					仮置土積込			m ³	201		59 + 142 = 201	
					仮置土運搬復路			m ³	150		(78 + 57 +) / 0.9 = 150.0	
					残土運搬			m ³	51		201 - 150 = 51	
					管布設工	硬質塩化ビニル管			m	72.4		10.2 + 62.2 = 72.4
							管布設工		m	10.2		10.17
			管布設工		m	62.2		62.17				
			硬質塩化ビニル管		本	2						
			硬質塩化ビニル管		本	15						
			硬質塩化ビニル管		本	1						
			硬質塩化ビニル管		本	1						

数 量 総 括 表

単 独

補助その3

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	変更数量	摘 要
	マンホール工							
		組立マンホール工	組立1号マンホール		箇所	1		
				鉄蓋(受枠共) T-14 φ600mm	組			
				鉄蓋(受枠共) T-25 φ600mm	組	1		
				無収縮モルタル	kg	11		5.33kg/cm × 2cm = 10.7
				調整リング H=100mm	個	1		
				調整リング H=150mm	個			
				斜 壁 600×900×450	個			
				斜 壁 600×900×600	個	1		
				直 壁 900×300	個			
				直 壁 900×600	個	1		
				直 壁 900×900	個			
				躯体ブロック 900×600	個			
				躯体ブロック 900×900	個			
				躯体ブロック 900×1200	個			
				躯体ブロック 900×1500	個			
				躯体ブロック 900×1800	個	1		
				底 版 H=130mm	個	1		
				ブロック据付工 人孔深H=3.00mまで	箇所			
				ブロック据付工 人孔深H=4.00mまで	箇所	1		

数量総括表

単独

補助その3

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	設計数量	変更数量	摘 要
	付帯工							
		舗装撤去工	舗装版切断		m	152.8		10.0 + 142.8 = 152.8
				As t=15cm以下	m	10.0		t=5cm 10.0
				As t=15cm超え30cm以下	m	142.8		t=17cm t=17cm t=17cm 126.0 + 12.0 + 4.8 = 142.8
			濁水処理		m ³	0.6		
				As t=5cm	m ³			0.023 × 0.05 × 10.0 = 0.012
				As t=17cm	m ³	0.6		0.023 × 0.17 × 142.8 = 0.56
			舗装版破碎		m ²	75		5 + 70 = 75
				舗装版直接掘削・積込 As t=15cm以下 BH0.45m ³	m ²	5		4.5
				舗装版破碎 As t=15cm超え40cm以下 BH0.45m ³	m ²	70		59.9 + 5.4 + 4.3 = 69.6
			殻運搬処理		m ³	12		
				BH0.45m ³ 積込 DT10t L= 5.9km As t=17cm	m ³	12		10.2 + 0.9 + 0.73 = 11.8
				BH0.45m ³ 積込 DT10t L=5.9km As t=5cm	m ³	0.2		0.2 = 0.2
				As処理費	m ³	12		
		舗装復旧工	下層路盤工		m ²	75		
				県道(車道) 人力施工 再生骨材RC40 t=53cm	m ²	70		59.9 + 5.4 + 4.3 = 69.6
				町道(車道) 人力施工 再生骨材RC40 t=20cm	m ²	5		4.5 = 4.5
			上層路盤工		m ²	75		
				県道(車道) 人力施工 As安定処理 t=7cm	m ²	70		
				町道(車道) 人力施工 粒調碎石M-40 t=17cm	m ²	5		

単 独		数 量 計 算 表												補助その3				
設 計 条 件	管 径	掘 削 幅	掘削土質	土留種別	管基礎条件	埋戻土条件	舗 装 構 成								そ の 他			
	VU 150	W 0.90 バックホウ 0.28	粘性土	たて込み簡易	基礎種別 砂基礎	発生土	現 況				復 旧				基礎断面積 Ak = 0.312 m ²	管外断面積 A = 0.021 m ²		
							管理者の別	県道(車道)	町道(車道)	砂利道	コンクリート道	県道(車道)	町道(車道)	砂利道			コンクリート道	
							全厚 (cm)	70	40	10		70	40	10				
							表層 (cm)	5	5			5	3					
							中間層 (cm)											
基層 (cm)							5				5							
上層 (cm)	7	15			7	17												
下層 (cm)	53	20	10		53	20	10											
路線番号	測 点 (マンホール番号)	掘 削 深 (m)	平均掘削深 H	路線延長 L	掘 削 工					埋 戻 工					道 路 種 別	備 考 (土工平均断面)		
	上流側	上流側 A	(m)	(m)	舗装復旧工	舗装版直接掘削	舗装切断工	予掘り工	機械掘削工	埋戻1	残 土 処 分							
	下流側	下流側 B			As (m ²)	(m)	Y (m ³)	Z (m ³)	発生土 G (m ³)	発生土 I (m ³)	発生土 J (m ³)	発生土 K (m ³)	発生土 L (m ³)	発生土 M (m ³)			発生土 N (m ³)	発生土 O (m ³)
			H=(A+B)/2	L	W×L	W×L	L×2	W×(1.0-t)×L	W×(H-1.0)×L	W×hg×L				W×hi×L	W×L×t	Y+Z-(G+I)/0.9		
42	42-2 +5.0m	2.20 2.31	2.26	5.00	4.5	4.5	10.0	4.3	5.7	1.8				5.0	0.2	2.4	町道(車道)	掘削深= 2.26 舗装= 0.40 埋戻1= 0.39 埋戻2= 1.10 基礎= 0.37
42	+5.0m 43-1-1	2.20 2.31	2.26	6.00	5.4	5.4	12.0	4.5	6.8	2.1				4.3	0.9	4.2	県道	掘削深= 2.26 舗装= 0.70 埋戻1= 0.39 埋戻2= 0.80 基礎= 0.37
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
																		掘削深= 埋戻1= 基礎=
計	加重平均掘削深 =	2.26	2.26	11.00	町道(車道) 4.5 県道 5.4	t=5cm 4.5 t=17cm 5.4	t=15cm以下 10.0 t=30cm以下 12.0	BH0.28 8.8	12.5	3.9				9.3	町道(車道) 0.2 県道 0.9	6.6	荷 重 平 均	掘削深= 2.26 舗装= 0.56 埋戻1= 0.39 埋戻2= 0.94 基礎= 0.37

管・基礎数量計算書

補助その3
(硬質塩化ビニル管 200 mm)

単 独

路線番号	測 点	路線延長 (m)	人孔による 減長(内径) (m)	副管による 減長 (m)	人孔による 減長(壁厚) (m)	管渠延長 (m)	基礎延長 素掘り部 (m)	基礎延長 土留部 (m)	バックホウ (m ³)	掘削幅 (m)	管基礎 施工角 (度)	管本数 (ゴム輪受口) 4.00 (m/本)	ブレンエント [®] 直管 (m)	可とう性 マンホール継手 (個)	副管分岐用 マンホール継手 1.00 (m/本)
40	No. 40-1 ~ No. 40-2	63.00	0.375+0.45 0.83		0.075+0.075 0.15	62.17		62.02	0.28	0.95	360	15	2.17	2	
計		63.00	0.83		0.15	62.17		62.02		幅 0.95		15	2.17	2	

土留部砂基礎
 BH 0.28 m³ 62.02 m × 0.362 m³/m = 22.5 m³
 BH 0.45 m³ 0.00 m × 0.446 m³/m = m³
 BH 0.80 m³ 0.00 m × 0.551 m³/m = m³

ブレンエント[®]直管
 2.17 m ÷ 4.00m/本 = 1 本
 副管分岐用マンホール継手

管・基礎数量計算書

補助その3
(硬質塩化ビニル管 150 mm)

単 独

路線番号	測 点	路線延長 (m)	人孔による 減長(内径) (m)	副管による 減長 (m)	人孔による 減長(壁厚) (m)	管渠延長 (m)	基礎延長 素掘り部 (m)	基礎延長 土留部 (m)	バックホウ (m ³)	掘削幅 (m)	管基礎 施工角 (度)	管本数 (ゴム輪受口) 4.00 (m/本)	プレセント [®] 直管 (m)	可とう性 マンホール継手 (個)	副管分岐用 マンホール継手 1.00 (m/本)
42	No. 42-2 ~ No. 43-1-1	11.00	0.45+0.375 0.83		0.075+0.075 0.15	10.17		10.02	0.28	0.90	360	2	2.17	2	
計		11.00	0.83		0.15	10.17		10.02		幅 0.90		2	2.17	2	

土留部砂基礎

BH 0.28 m³ 10.02 m × 0.312 m³/m = 3.1 m³

BH 0.45 m³ 0.00 m × 0.405 m³/m = m³

BH 0.80 m³ 0.00 m × 0.497 m³/m = m³

プレセント[®]直管

2.17 m ÷ 4.00m/本 = 1 本

土留工数量表

路 線 番 号	VU200		土 留 延 長 (m)	最 大 掘 削 深 (m)	軽量鋼矢板土留工 (m)						木製支保工(m)		たて込み簡易土留工 (m)			備 考
	人 孔 番 号	No.			1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m	4.0m	H<2.0m 木製1段	H≥2.0m 木製2段	H≤3.5m	3.5m<H≤4.5m	4.5m<H≤6.0m	
40	No.	40-1 ~ 40-2	63.00	3.17							63.0					
計			63.00								63.0					

土留工数量表

単独 VU150

補助その3

路線番号	人孔番号	土留延長 (m)	最大掘削深 (m)	軽量鋼矢板土留工 (m)						木製支保工(m)		たて込み簡易土留工 (m)			備考		
				矢板長 1.5m	矢板長 2.0m	矢板長 2.5m	矢板長 3.0m	矢板長 3.5m	矢板長 4.0m	H<2.0m 木製1段	H≥2.0m 木製2段	H≤3.5m		3.5m<H≤4.5m		4.5m<H≤6.0m	
42	No. 42-2 ~ No. 43-1-1	11.00	2.31											11.0			
計		11.00												11.0			

1号マンホール計算書

単独

補助その3

マンホール番号	マンホール深さ	流出管		流入管				副管				調整高	ステッブの角度	底版						直壁						斜壁			調整リング			調整金具		ふた受わく	削孔	インバート有	インバート無	インバートのみ										
		内径	管底高	管内径	管底高	落差	管径	管底高	落差	管径	管底高			落差	管径	管底高	落差	管径	管底高	落差	管径	管底高	落差	管径	管底高	落差	管径	管底高	落差	管径	管底高	落差	管径						管底高	落差								
																																									種	種	種	種	種	種	種	種
40-1	3.06	200	75.161	H		VU	75.813	652					20			1																			1				φ200									
				D		VE																																T-25	φ150									
				①																																			T-14	φ100								
				VE																																												
				H																																												
				D																																												
				①																																												
				VE																																												
				H																																												
				D																																												
				①																																												
				VE																																												
合計				H	3.00m以下			箇所					20			1																																
				D	3.01~4.00m	1		箇所																																								
				①	4.01~5.00m			箇所																																								
				VE																																												

管種の略号 H:外圧管 VU:塩ビ管 CP:陶管

D:推進管 VE:塩ビ卵形管 SF(おどり場直壁)の数は△で囲む

0号マンホール計算書

単独		補助その3																																					
マンホール番号	マンホール深さ	流出管		流入管								調整高	ステップの角度	底版						直壁						斜壁			調整リング			調整金具		ふた受わく	削孔	インバート有	インバート無	インバートのみ	
		内径	管種	内径	管種	管底高	落差	角度	内径	管種	落差			角度	13	く体ブロック MOB				直壁 MOS				斜壁 MOT			調整リング MR			調整金具 MWB									
																60	90	120	150	180	30	60	90	120	150	180	30	45	60	5	10	15	25						45
42-2	2.10	75.592	H D CP VE	VU	75.807	215						60	1				1																MF1 11	T-25 φ150 1 T-14 φ100 1			1		
			H D CP VU VE																															T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
			H D CP VU VE																															T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
			H D CP VU VE																															T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
			H D CP VU VE																															T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
			H D CP VU VE																															T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
			H D CP VU VE																															T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
合計					2.00m以下		箇所																											T-25 φ125 1 T-14 φ150 1					
					2.01~3.00m	1	箇所																																
					3.01~4.00m		箇所						60	1																									

管種の略号 H:外圧管 VU:塩ビ管 CP:陶管 D:推進管 VE:塩ビ卵形管 SF(おどり場直壁)の数は△で囲む

取付管数量計算表

(取付管φ 150)

単独 県道(車道)

補助その3

汚水 樹 番号	人 孔 番号	樹 設 置		本 管 土 被 り			本 管 掘 削 幅 C	施 工 延 長 W	舗 装		取付管土工延長 L1 (W-C/2)×N (m)	取付管平均掘削深 h (樹深+h1)/2 (m)	取付管延長 L2 h≤1.5 (W-C/2-0.2)×N h>1.5 (W-C/2-0.2+h2)×N (m)	管 本 数						舗装面積 (復旧) A (m ²)	舗装版 体 積 A×t (m ³)	舗装版 切 断 L3×2×N (m)		
		樹 深 D (m)	個 数 N (個)	上流側 土被り (m)	平 均 土被り h(m)	h1 (m)			h2 (m)	延 長 L3 (m)				舗 装 版 厚 t(m)	90° 支管 (個)	60° 支管 (個)	60° 曲管 (個)	30° 曲管 (個)	ゴ ム 輪 受 口 自 在 曲 管				ゴ ム 輪 受 口 片 受 直 管 (m)	
																			0° (個)					75° (個)
1	No. 40-1 ~ No. 40-2	1.0	1	2.85 2.84	2.85	1.50	1.35	0.95	6.50	2.38	0.17	6.0	1.25	7.2	1		1			1	7.2	4.3	0.73	4.8
													加重平均											
計			1									6.0	1.25	7.2	1		1			1	7.2	車道 4.3	車道 0.73	車道 4.8

6.0

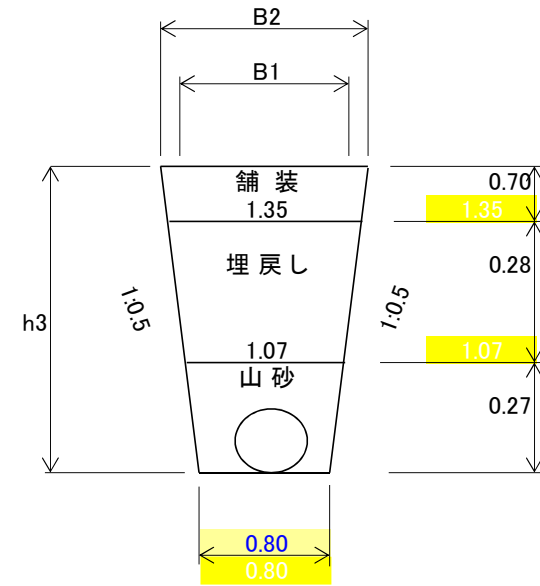
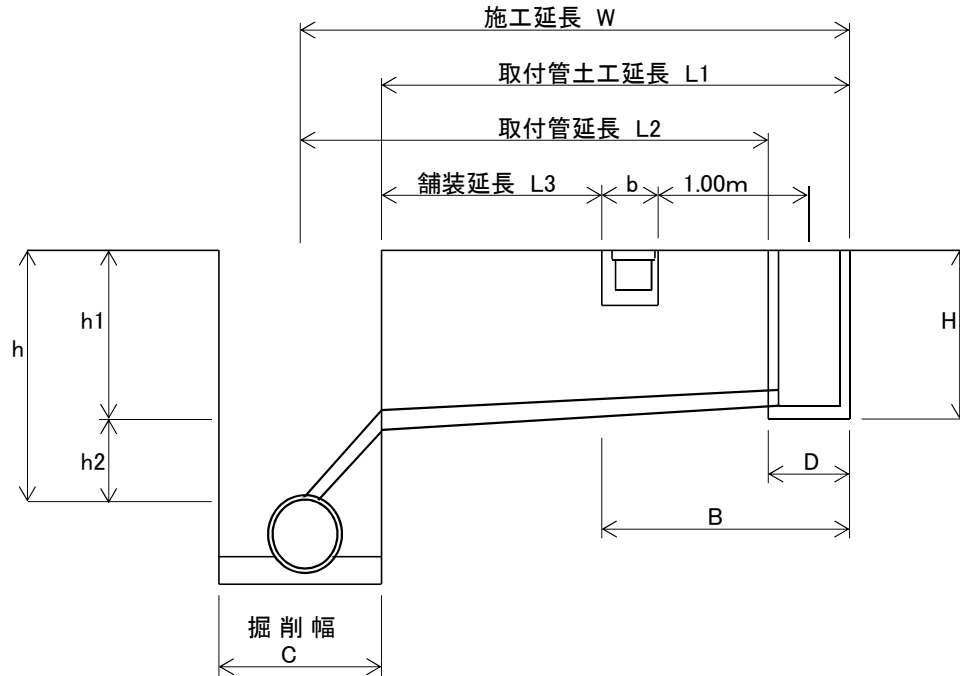
平均延長
7.20

ゴ ム 輪 受 口 直 管
7.2 ÷ 4.0 m/本 = 2 本

取付管土工数量計算表

単独 県道(車道)

補助その3



平均掘削深	h=	1.25	m
平均掘削幅	B1=	1.43	m
舗装復旧幅	B2=	2.05	m

山砂厚	h4 =	0.27	m
埋戻し厚	=	0.28	m
舗装厚	=	0.70	m

3. 山砂(再生砂)

$$\{ (0.80 + 1.07) \times 0.27 / 2 - \pi / 4 \times 0.165^2 \} \times 6.0 = \underline{1.4} \text{ m}^3$$

4. 埋戻し

$$(1.07 + 1.35) \times 0.28 / 2 \times 6.0 = \underline{2.0} \text{ m}^3$$

5. 残土処理

土砂	10 - 2 / 0.9 =	<u>7.8</u>	m ³
As塊		<u>0.7</u>	m ³

1. 舗装版直接掘削

$$0.73 = \underline{0.7} \text{ m}^3$$

2. 機械掘削

$$1.43 \times 1.25 \times 6.0 - 0.7 = \underline{10.0} \text{ m}^3$$